TD-4650TNWB
TD-4750TNWB/4750TNWBR

ユーザーズガイド（日本語）

第六版

© 2020 Brother Industries, Ltd. All rights reserved.

JPN

重要事項

本書に掲載されている画面イメージは、お使いのパソコンのオペレーティングシステム、ご使用の機種、ソフトウェアバージョンによって異なる場合があります。
安全に正しくお使いいただけるよう、ご使用になる前に必ず本機に同梱されているすべての文書をお読みください。
警告および安全上の注意点については、「安全にお使いいただくために」をご覧ください。

医療機器への影響について（RFID モデルのみ）
本製品は電波を使用した RFID 機器です。そのため使用する用途・場所によっては、植込み型医療機器に影響を与える恐れがあります。
この影響を少なくするために、運用に際して以下の事項を厳守ください。

- 本製品の操作者は、本製品 RFID 機器のアンテナ部を植込み型医療機器の装着部位から 22cm 以上離すこと。
- 植込み型医療機器装着者は、本製品より 22cm 以内に近づかないこと。

著作権情報

本書および本書に記載されているソフトウェア、プリンターのファームウェアの著作権はブラザーに帰属します。All rights reserved.

この文書の情報は、予告なく変更されることがあり、ブラザーはその内容について何ら責任を負いません。本取扱説明書をブラザーから事前に書面による許可を得ることなしに、購入者の個人的な使用目的以外で、いかなる形式または手段により複写または送信することも禁じられています。

商標

Bluetooth®のワードマークおよびロゴは Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、ブラザー工業株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。

Wi-Fi®は、Wi-Fi Alliance®の登録商標です。

CG Triumvirate は Agfa Corporation の商標です。CG Triumvirate Bold Condensed フォントは Monotype Corporation からライセンス供与されています。
その他すべての商標は、それぞれの所有者の財産です。

ブラザー製品、関連文書およびその他の資料に記載されている社名及び商品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。

オープンソースライセンスに関する特記事項

本製品にはオープンソースソフトウェアが含まれています。
オープンソースライセンスに関する特記事項については、サポートサイト（support.brother.com）でお使いの機種の**製品マニュアル**ページを参照してください。

目次

1.はじめに..... 1
1.1 製品情報..... 1
1.2 補足情報..... 1
2.操作の概要..... 2
2.1 開梱して部品を確認する..... 2
2.2 各部の名称..... 3
2.2.1 外観図..... 3
2.2.2 内面図..... 4
2.2.3 背面図..... 5
2.3 電源コードを接続する..... 6
2.4 操作ボタンの説明..... 7
2.5 ステータス LED..... 8
3.プリンターをセットアップする..... 9
3.1 リボンをセットする..... 9
3.2 用紙をセットする..... 11
3.2.1 ラベルロールをセットする..... 11
3.2.2 外付けロールホルダーを取り付ける（オプション）..... 15
3.2.3 ラベルロールをセットする -カッターユニットを使用する場合..... 17
3.2.4 ラベルロールをセットする -ハクリユニットを使用する場合..... 19
4.印刷..... 23
4.1 プリンタードライバーのインストール..... 23
4.1.1 USB 接続（Windows/Mac/Linux）..... 23
4.1.2 Bluetooth 接続（Windows）..... 24
4.1.3 Wi-Fi ネットワーク接続（Windows）..... 25
4.1.4 有線ネットワーク接続（Windows）..... 26
4.2 BarTender を使用してラベルを作成・印刷する..... 27
5.操作..... 29
5.1 パワーオンユーティリティ..... 29
5.1.1 ギャップセンサー／ブラックマークセンサーのキャリブレーション..... 29
5.1.2 ギャップセンサー／ブラックマークセンサーのキャリブレーション、セルフテスト、ダンプモードに入る..... 30
5.1.3 プリンターの初期化..... 33
5.1.4 メディアセンサーのキャリブレーション（ブラックマークセンサー用）..... 35
5.1.5 メディアセンサーのキャリブレーション（ギャップセンサー用）..... 35
5.1.6 AUTO.BAS プログラムをスキップする..... 35

6.液晶ディスプレーの概要 36
6.1 メインメニューを表示する 36
6.2 メインメニューの概要 37
6.3 設定メニュー 38
6.3.1 FBPL 設定 38
6.3.2 ZPL2 設定 40
6.4 センサー調整 43
6.5 インターフェイス設定 44
6.5.1 シリアル通信設定 44
6.5.2 イーサネット設定 45
6.5.3 Wi-Fi 設定 46
6.5.4 Bluetooth 設定 47
6.5.5 RFID 設定 48
6.6 詳細設定 54
6.7 ファイル管理 55
6.8 プリンタ診断 56
7.Brother Printer Management Tool（BPM） 57
7.1 BPM を実行する 57
7.2 BPM を使用してメディアセンサーの自動キャリブレーションを行う 58
8.RFID をセットアップする 59
8.1 はじめに 59
8.2 RFID キャリブレーション（TD-4750TNWBR のみ） 60
8.2.1 アンテナ位置を選択する 60
8.2.2 RFID キャリブレーションの手順 61
9.製品仕様 64
10.トラブルシューティング 67
10.1 一般的な問題 67
10.2 RFID エラーメッセージ 71
11.メンテナンス 73

1.はじめに

1.1 製品情報

TD-4650TNWB／4750TNWB／4750TNWBR ラベルプリンターは、その優れた設計により、最大 300 m のリボンと 4 インチ幅のラベルロールに対応しています。装着可能なラベル外径は 127mm ですが、外付けロールホルダーを取り付けることで、外径 203.2mm ロールまで対応可能となり、産業用ラベルプリンターとして使用することができます。プリンターの可動式ブラックマークセンサーは、幅広い種類のラベル用紙に対応しています。

本機は高性能で高品質である、内蔵の Monotype Imaging®TrueType フォントエンジンとなめらかなスケーラブルフォント（CG Triumvirate Bold Condensed）を使用しています。また、8 種類の異なるサイズの英数字ビットマップフォントも使用できます。ファームウェアの設計は柔軟で、コンピューターから TrueType フォントをダウンロードし、カスタムラベルをプリントすることができます。また、ほとんどの標準バーコード形式に対応し、フォントやバーコードを 4 方向に印刷できます。

1.2 補足情報

ご使用になるラベルプリンターのカスタムプログラムの記述方法については、support.brother.com のお使いのモデルの**製品マニュアル**ページまたは、開発者ツールサイト brother.co.jp/product/dev より該当のコマンドリファレンスを参照してください。

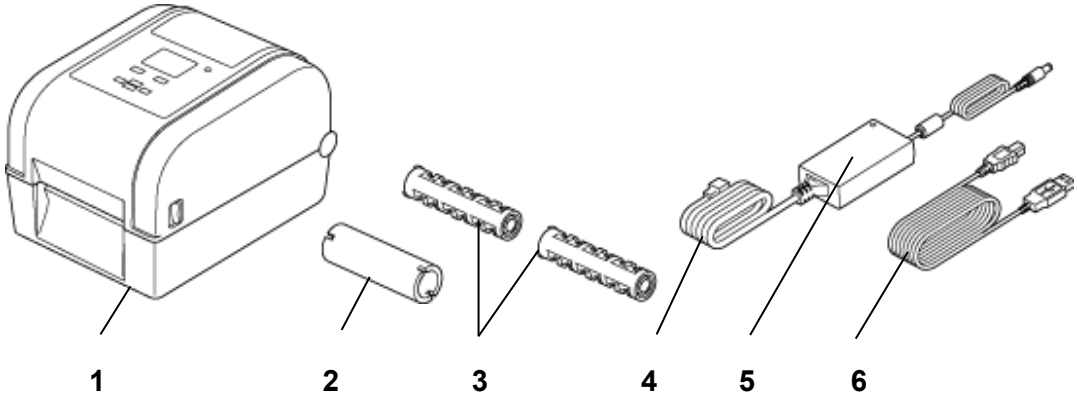
2.操作の概要

2.1 開梱して部品を確認する

お願い

今後プリンターを送付する必要が生じたときのため、梱包材は保管しておいてください。

箱に入っている部品:

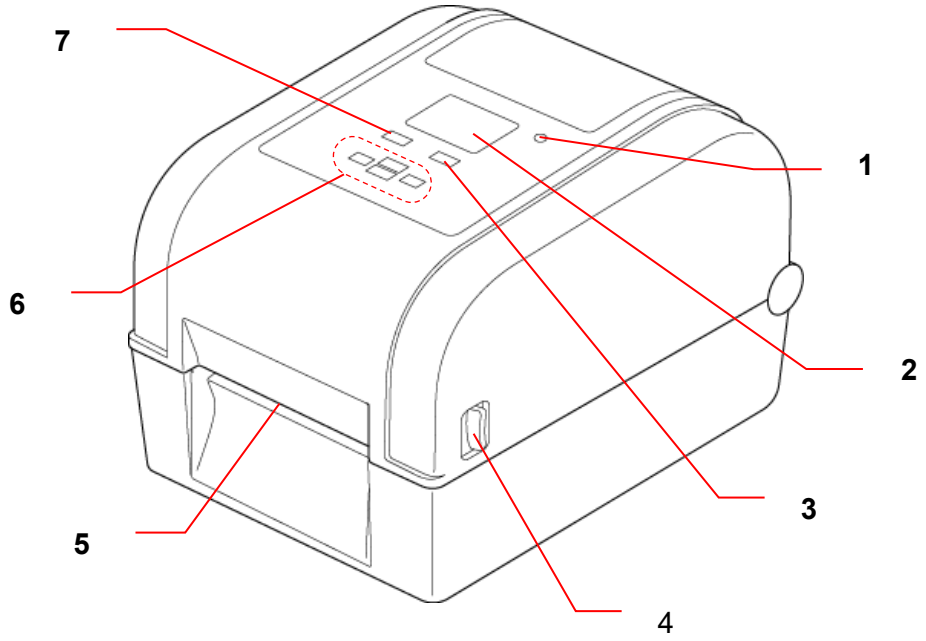


1. プリンター本体
2. 25.4mmリボン用紙芯
3. 25.4mmリボン供給軸 2個
4. 電源コード
5. ACアダプター
6. USBケーブル

もし部品がすべて揃っていない場合は、ブラザーコールセンターまたはお近くの販売店までご連絡ください。

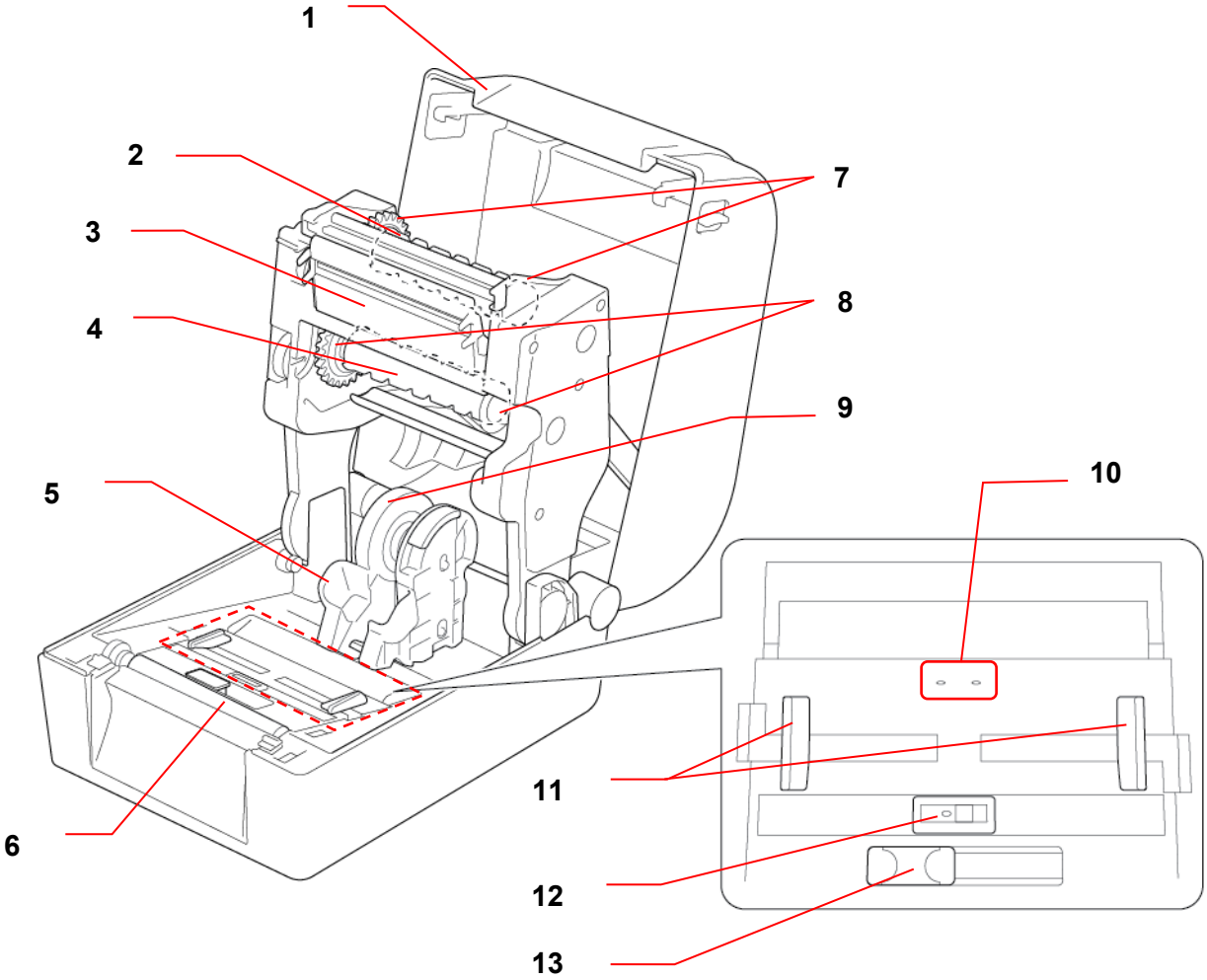
2.2 各部の名称

2.2.1 外観図



1. ステータス LED
2. 液晶ディスプレー
3. 給紙／一時停止ボタン（液晶ディスプレーの右アイコンを操作）
4. ロールカバータブ
5. ラベル出力スロット
6. ナビゲーションボタン
7. メニューボタン（液晶ディスプレーの左アイコンを操作）

2.2.2 内面図

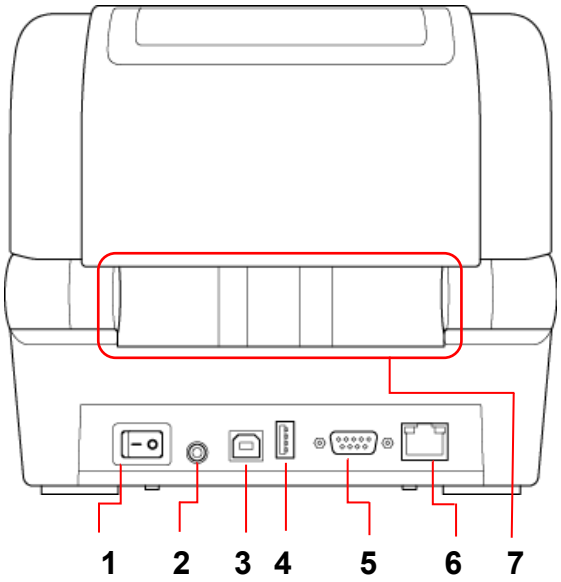


1. ロールカバー
2. リボン巻き取り軸
3. 印字ヘッド
4. リボン供給軸
5. ロールガイド
6. プラテンローラー
7. リボン巻き取りハブ
8. リボン供給ハブ
9. 用紙アダプター
10. ギャップセンサー
11. 用紙おさえ
12. ブラックマークセンサー
13. RFID アンテナスライド
（TD-4750TNWBR のみ）

⚠ 警告

回転する部品には触れないでください。回転する部品に指が挟まるとケガをする恐れがあります。金属部品に触る際は必ず電源を切ってください。

2.2.3 背面図



1. 電源スイッチ
2. 電源ポート
3. USB ポート（USB 2.0/High Speed）
4. USB ホストポート
5. RS-232 シリアルポート
6. Ethernet ポート
7. 給紙スロット

お願い

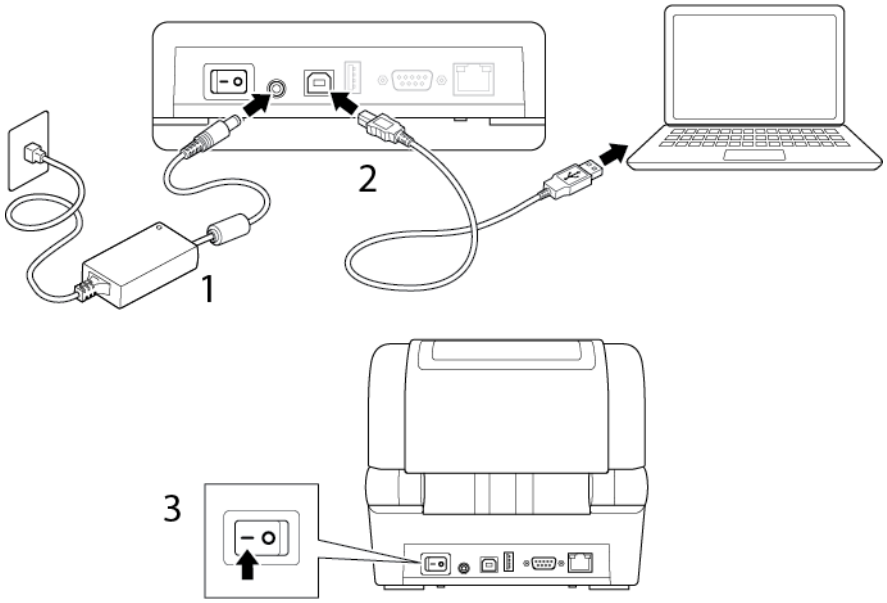
詳細は *9. 製品仕様*をご覧ください。

2.3 電源コードを接続する

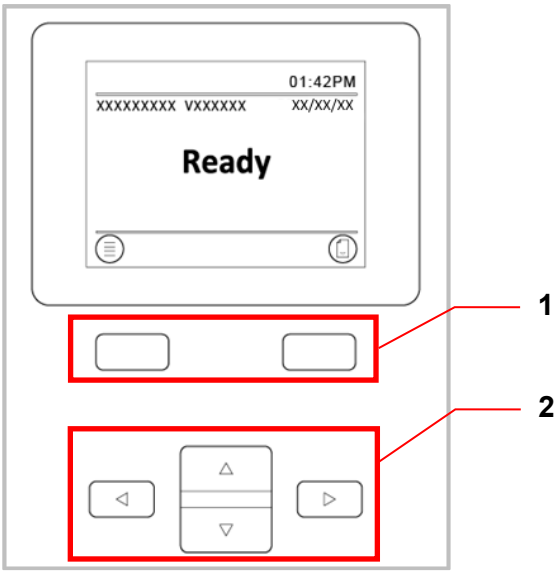
お願い

- 電源ポートに電源コードを差し込む前に、プリンターの電源スイッチがオフになっていることを確認してください。
- プリンターを平らな安定した場所に置いてください。
- 詳細は *9. 製品仕様*をご覧ください。

1. 電源コードのコネクターをプリンター背面の電源ポートに差し込み、もう一方のプラグを AC 電源のコンセントに差し込みます。
2. 付属の USB ケーブルを使用して、プリンターをパソコンに接続します。
3. 電源スイッチの「-」側を押して、プリンターの電源をオンにします。



2.4 操作ボタンの説明



No.	説明	機能
1	ソフトボタン	・ **メニューボタン（左）：** - 待機中モードにて液晶メニューを開きます。 - 液晶下部の左側アイコンを選択します。 ・ **給紙／一時停止ボタン（右）** - 待機中モードにて１ラベル長分、用紙を送ります - 液晶下部の右側アイコンを選択します。 - 印刷ジョブを一時停止します。
2	ナビゲーションボタン	・ メニュー項目を選択します。 ・ 上下矢印を同時に押すと設定パネルをロックまたはロック解除できます。

液晶ディスプレイを日本語表示に変更する方法

お買い上げ時の言語設定は、英語（English）です。
言語を日本語に変更する場合は、以下の操作を行ってください。

1. 英語表示のメインメニューで **Advanced** を選びます。

2. **Advanced** を選択後、**Language** 設定を選びます。

3. **Language** 設定で**日本語**を選択し、 マークを押します。

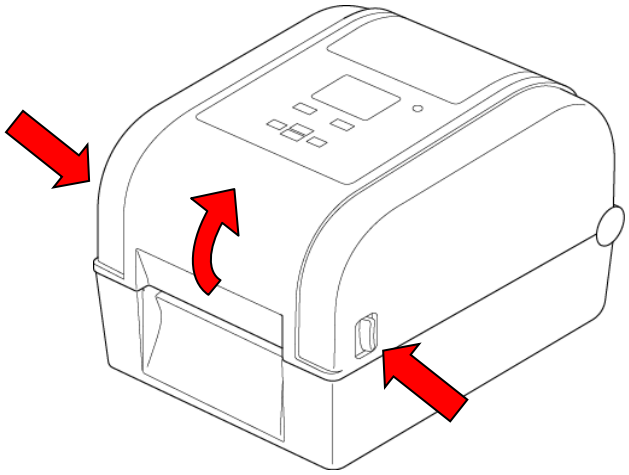
2.5 ステータス LED

LED の色	説明
緑色（点灯）	電源がオン状態で、プリンターを使用する準備ができています。
緑色（点滅）	・コンピューターからデータをダウンロードしています。 ・一時休止しています。
黄色	データを削除しています。
赤色（点灯）	・印字ヘッドが開いています。 ・カッターユニットに問題があります。
赤色（点滅）	メモリーエラーまたは印刷エラーが生じました（例えば、紙詰まり、用紙切れ、リボン切れなど）。

3.プリンターをセットアップする

3.1 リボンをセットする

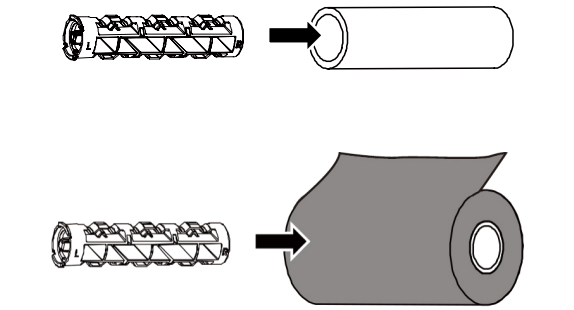
1. プリンターの両側にあるタブを手前に引き、ロールカバーを持ち上げます。

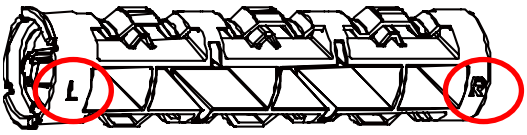


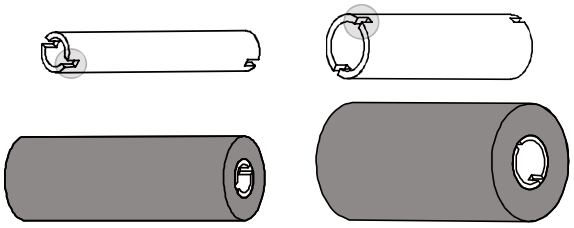
2. 次の紙芯のいずれかを使用します。

   - 溝のある 25.4mm または 12.7mm の紙芯。この場合、リボン軸をセットする必要はありません。
   - 溝のない 25.4mm の紙芯。この場合、リボン軸を紙芯、リボンに挿入します。

   お願い
   リボン軸を挿入するときは、左右の方向にご注意ください。



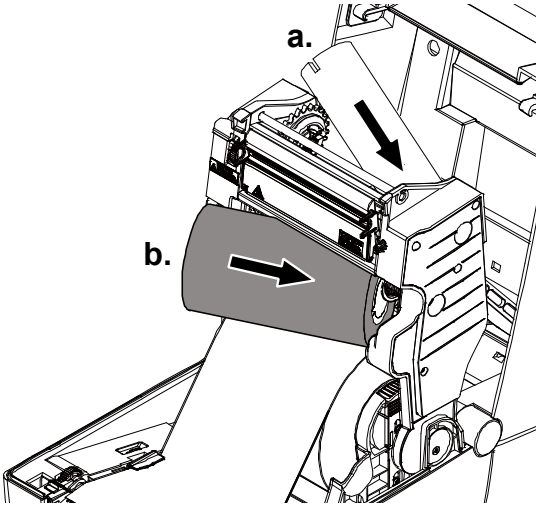




3.

a. 最初にリボン巻き取り軸の右側(「R」の印あり)をリボン巻き取りハブに挿入します。次にリボン巻き取り軸の左側をリボン巻き取りハブの左側の穴に差し込みます。

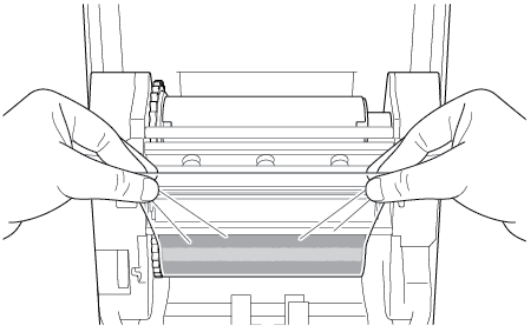
b. リボン供給軸の右側(「R」の印あり)をリボン供給ハブに挿入します。次にリボン供給軸の左側をリボン供給ハブの左側の穴に差し込みます。

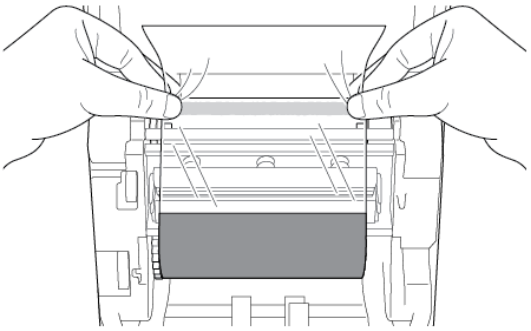


4. リボンを印字ヘッドに通して、リボンの先端をリボン巻き取り用紙芯に付着させます。

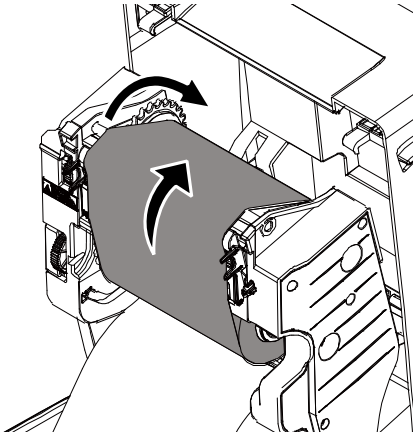
重要

リボンを交換する際、使い終わった後に残る空の紙芯を廃棄しないでください。リボン巻き取り用紙芯としてご使用ください。



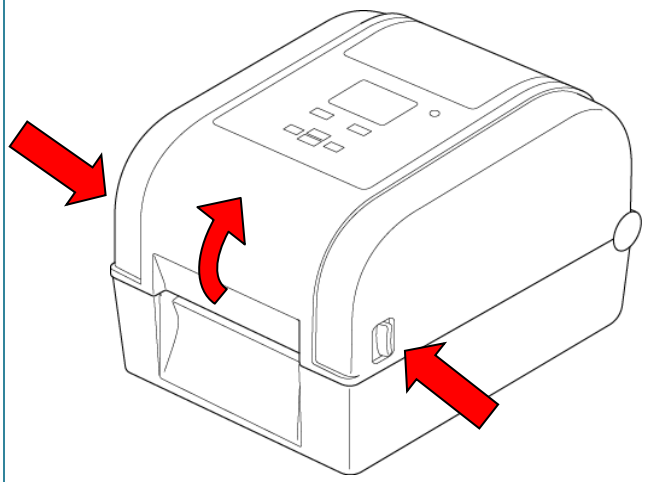
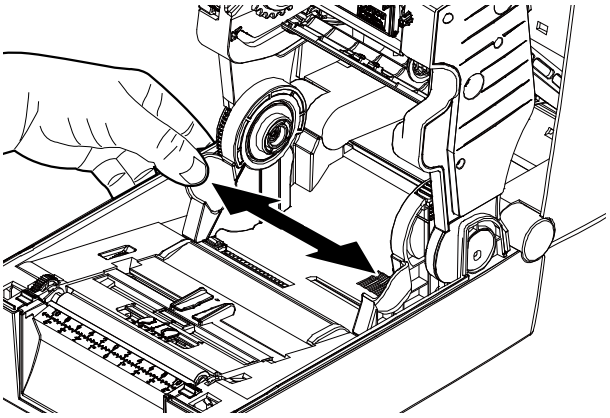
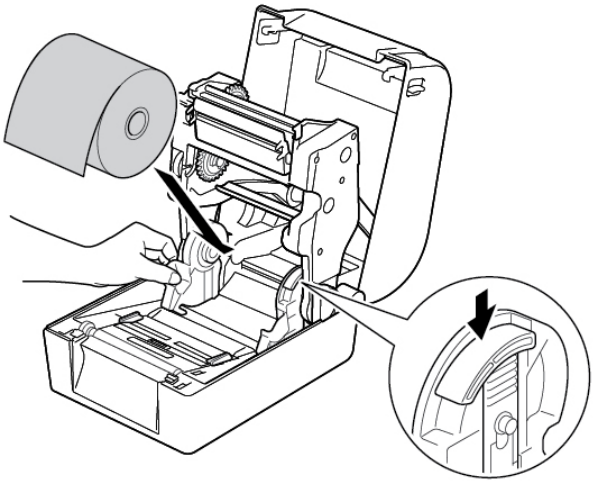


5. リボン巻き取りギアを使用して、リボンプラスチックの先端が完全に巻き付き、リボンの黒い部分が印字ヘッドを覆うようになるまで、リボン巻き取りハブを回転します。

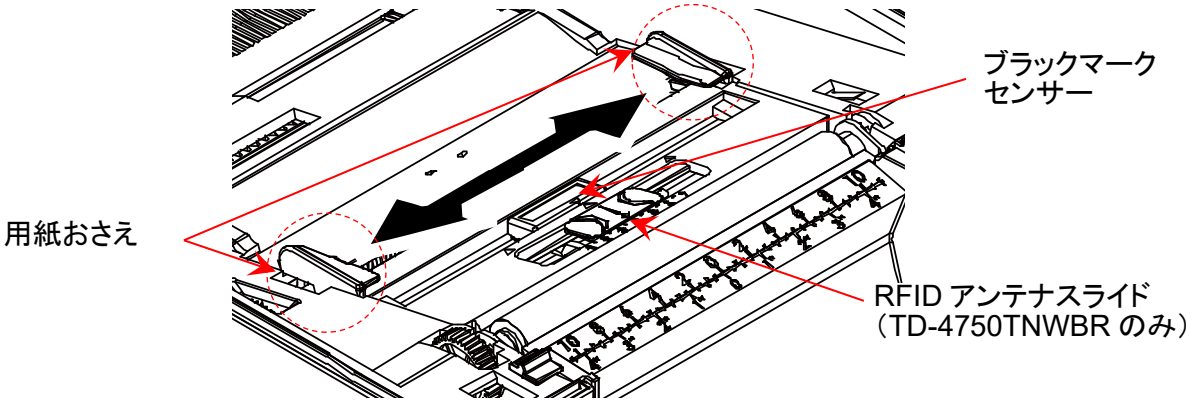


3.2 用紙をセットする

3.2.1 ラベルロールをセットする

1. プリンターの両側にあるタブを手前に引き、ロールカバーを持ち上げます。	
2. 両方のロールガイドを外側にスライドさせます。	
3. 図のように、ラベル面を上にして用紙ロールを挿入します。 ロックタブを押し下げてスライドさせ、ロールガイドを所定の場所にロックします。 **お願い** 必ずラベル印刷面を上にしてください。	

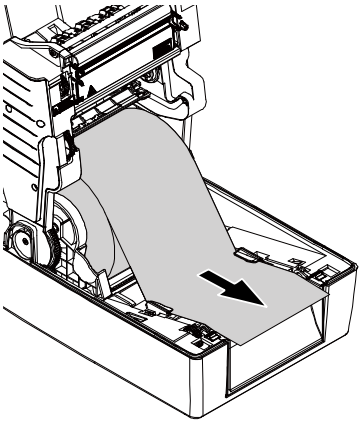
4. 用紙おさえを適切な位置にスライドしてください。

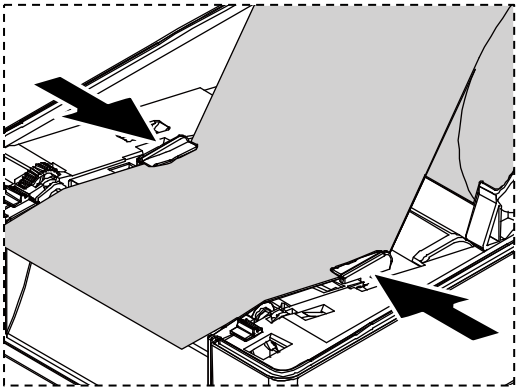


お願い

- ブラックマーク用紙、またはラベル長を示すパンチ穴付き用紙の場合、ブラックマークセンサーは可動します。ブラックマークセンサーと用紙おさえを適切な位置にスライドしてください。
- RFID モデルの場合、緑色の RFID アンテナスライドを適切な位置にスライドしてください。

5. ラベルの印刷面を上にしてロールを挿入します。用紙おさえの下にロールの端を送ります。用紙の先端をラベル出力スロットから少し出します。





6. ロールカバーの両側を押し下げ、静かに閉じます。

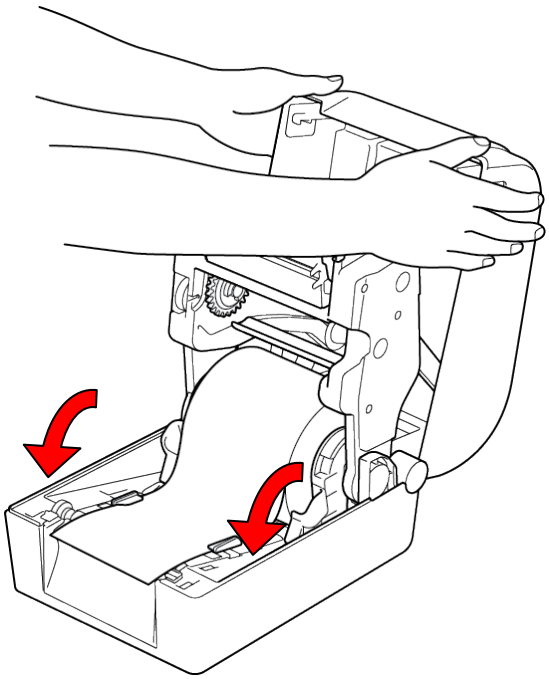
注意

ロールカバーを閉じるときは、手を挟まないようにしてください。ケガをする恐れがあります。

7. 液晶メニューまたは BPM を使用して用紙センサー種類を設定し、選択したセンサーのキャリブレーションをします。

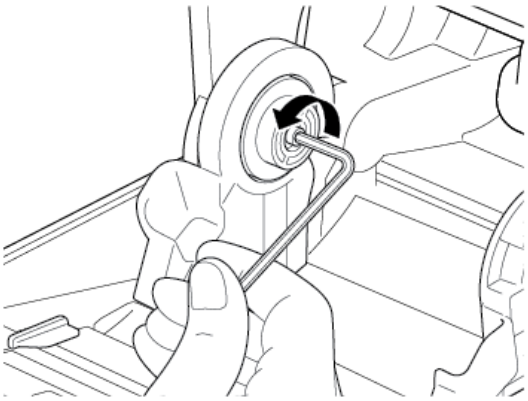
お願い

センサーキャリブレーションの詳細については、*7.2. BPM を使用してメディアセンサーの自動キャリブレーションを行う*を参照してください。



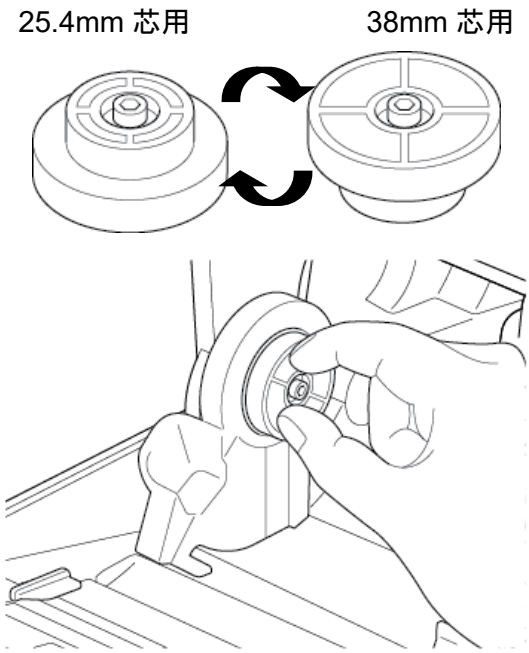
■ 25.4mm 芯用ロールガイドを 38mm 芯用に変更する

1. 2.5mm 六角棒スパナ（市販）を使用して、両側のロールガイドにある用紙アダプターを取り外します。

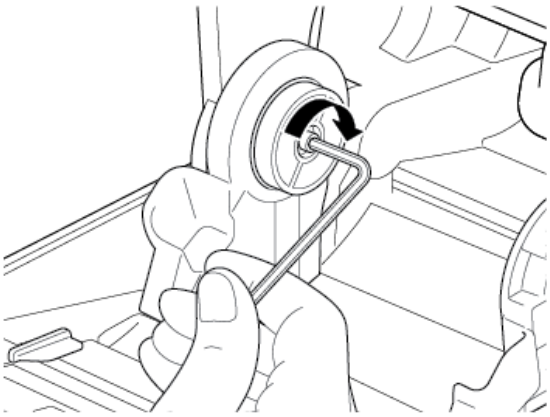


2. 用紙アダプターの向きを逆にし、ロールガイドに取り付けます。

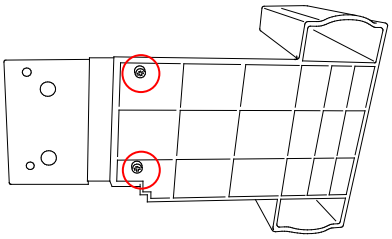
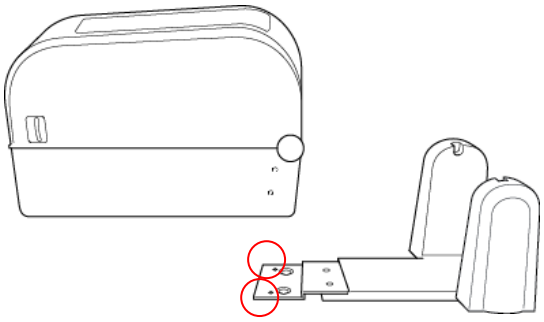
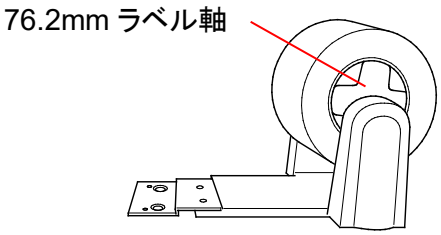
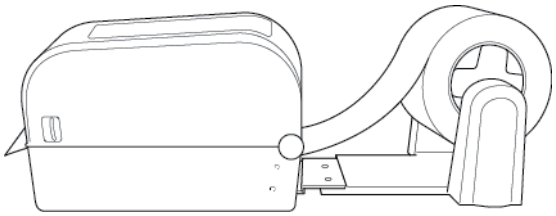
> **お願い**
> 用紙アダプターの向きを逆にすることで、ロールガイドを 25.4mm 芯用から 38mm 芯用に変更できます。

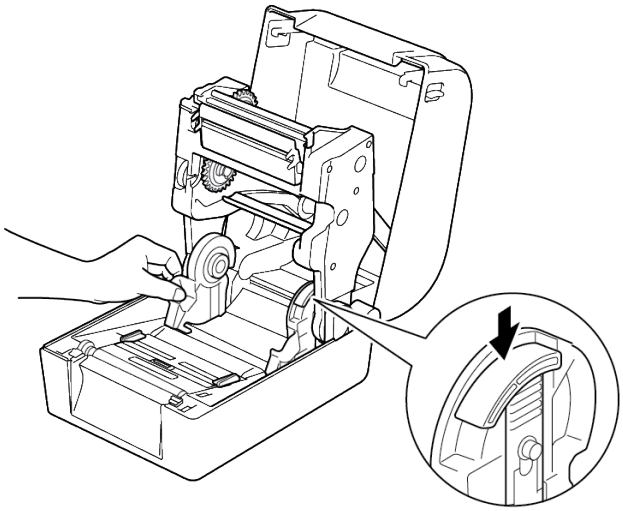
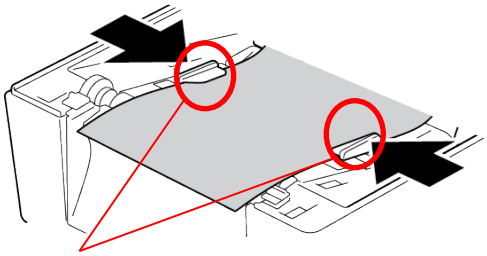


3. 両側ロールガイドの用紙アダプターを六角棒スパナで固定します。



3.2.2 外付けロールホルダーを取り付ける（オプション）

1. 拡張プレートの金属部品のねじを締め付ける。	
2. 拡張プレートをプリンターの底部に取り付ける。	
3. 76.2mm ラベル軸を用紙ロールに挿入します。次にこれを外付けロールホルダーにセットします。 **お願い** 必ずラベル印刷面を上にしてください。	
4. 用紙をプリンター背面の給紙スロットに送ります。	

5. ロールカバーを開けてください。ロールガイドを外側にスライドして、次にロールガイドを用紙幅に合わせます。ロックタブを押し下げて、ロールガイドを所定の場所にロックします。	
6. *3.2.1 ラベルロールをセットする*を参照して、ラベルロールをセットします。 7. 用紙を用紙おさえに通します。用紙おさえをラベル幅に合わせます。 8. BPM または液晶メニューを使用して用紙センサー種類を設定し、選択したセンサーのキャリブレーションをします。	 用紙おさえ

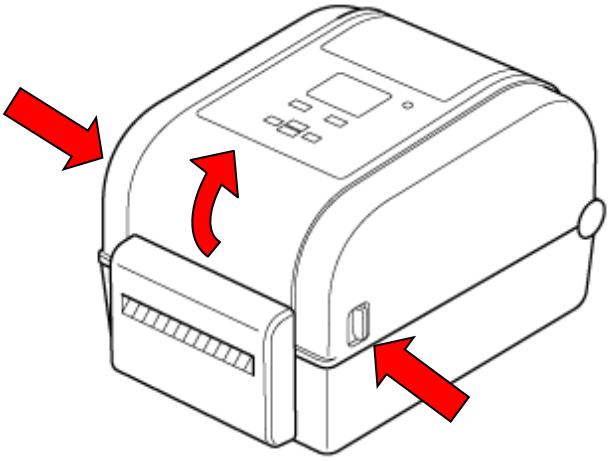
お願い

- 用紙を変更するたびにギャップ・ブラックマークセンサーのキャリブレーションをしてください。
- センサーキャリブレーションの詳細については、*7.2. BPM を使用してメディアセンサーの自動キャリブレーションを行う*を参照してください。

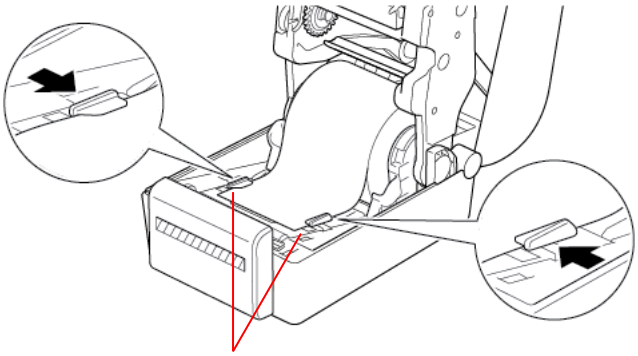
3.2.3 ラベルロールをセットする -カッターユニットを使用する場合

※ユーザー着脱不可のため、ご要望の際はブラザーコールセンターへお問い合わせください。

1. プリンターの両側にあるタブを手前に引き、ロールカバーを持ち上げます。
2. *3.2.1 ラベルロールをセットする*を参照して、ラベルロールをセットします。
3. 液晶または BPM を使用して用紙センサー種類を設定し、選択したセンサーのキャリブレーションをします。



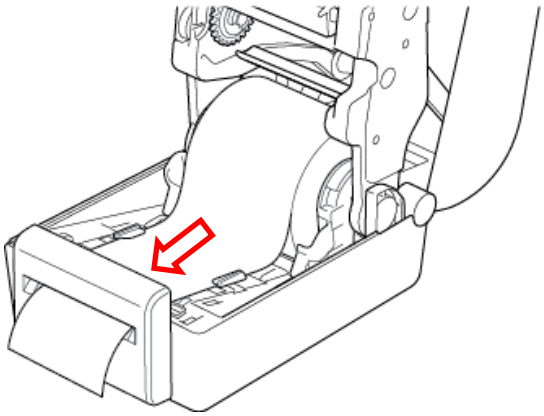
4. ラベルロールの用紙を用紙おさえに通します。用紙おさえをラベル幅に合わせます。



5. ラベルロールの用紙を押し出してカッター出力スロットに通します。

お願い

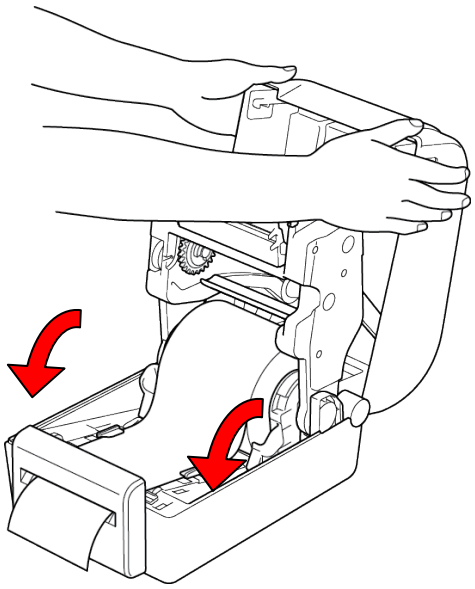
必ずラベル印刷面を上にしてください。



6. ロールカバーを閉じます。

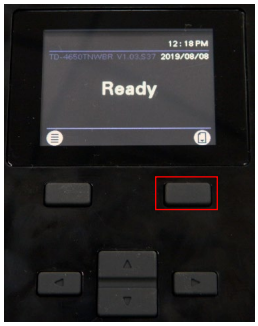
注意

ロールカバーを閉じるときは、手を挟まないようにしてください。ケガをする恐れがあります。



7. BPM を使用してプリンターをカッターモードに設定します。
   a. BPM を実行します。
   b. **プリンター設定**ボタンをクリックします。
   c. **FBPL** タブをクリックします。
   d. **プリント後の動作**ドロップダウンリストで、**カッター**をクリックします。
   e. **設定**をクリックします。

   f. **給紙／一時停止**ボタンを押して、テストします。

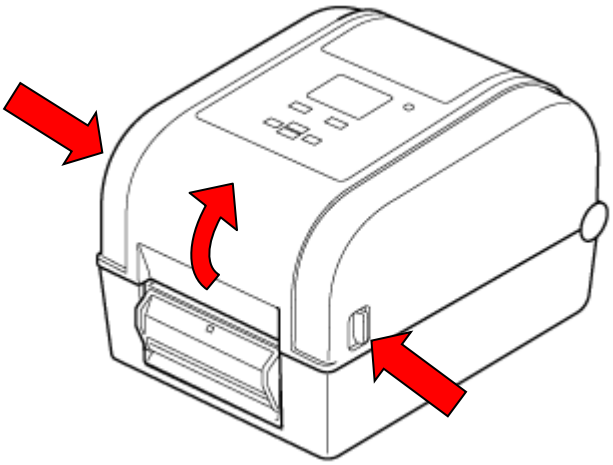
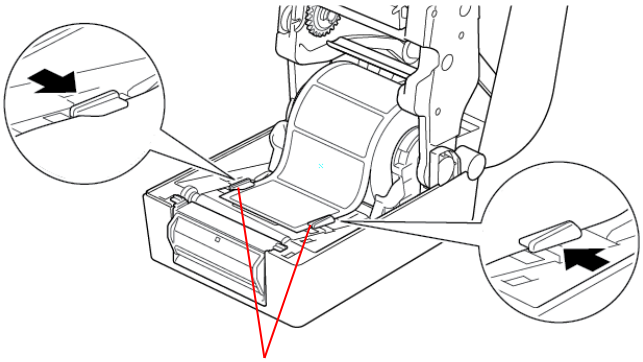


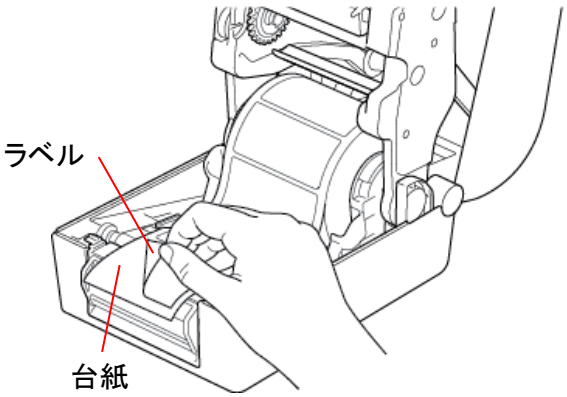
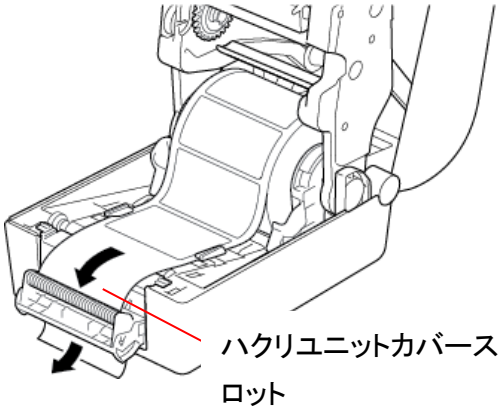
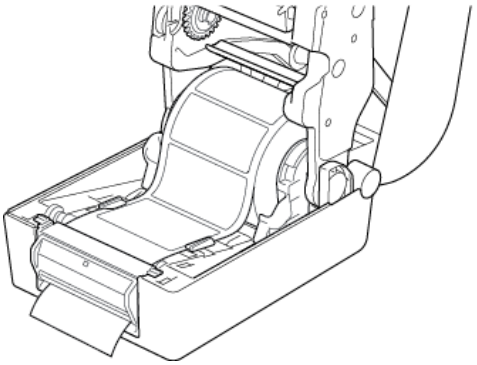
お願い

- セットした用紙を変更するたびにギャップセンサー／ブラックマークセンサーのキャリブレーションをしてください。
  センサーキャリブレーションの詳細については、*7.2. BPM を使用してメディアセンサーの自動キャリブレーションを行う*を参照してください。
- プリンター設定は液晶ディスプレーからでも変更できます。

3.2.4 ラベルロールをセットする -ハクリユニットを使用する場合

※ユーザー着脱不可のため、ご要望の際はブラザーコールセンターへお問い合わせください。

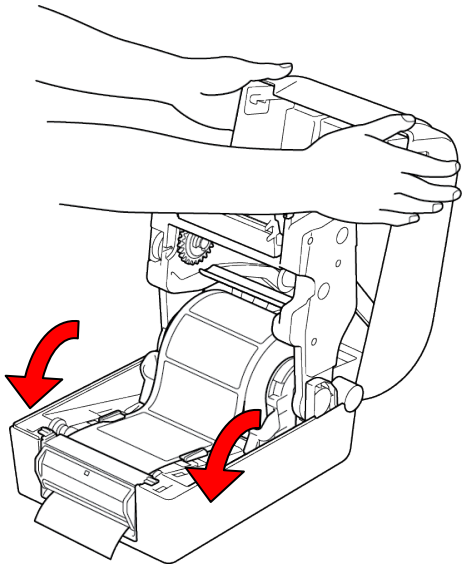
1. プリンターの両側にあるタブを手前に引き、ロールカバーを持ち上げます。 2. *3.2.1 ラベルロールをセットする*を参照して、ラベルロールをセットします。 3. 液晶または BPM を使用して用紙センサー種類を設定し、選択したセンサーのキャリブレーションをします。	
4. ラベルロールの用紙を用紙おさえに通します。用紙おさえをラベル幅に合わせます。	

5. プリンターから用紙を引き出し、ラベルを数枚剥がして、台紙だけを残します。 **お願い** 必ずラベル印刷面を上にしてください。	
6. ハクリユニットカバーを開きます。台紙をハクリユニットカバースロットに通します。	
7. ハクリユニットカバーを閉じます。	

8. ロールカバーを閉じます。

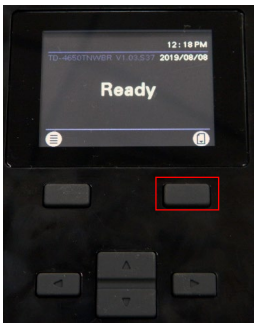
注意

ロールカバーを閉じるときは、手を挟まないようにしてください。ケガをする恐れがあります。



9. BPM を使用してプリンターをハクリユニットモードに設定します。
   a. BPM を実行します。
   b. **プリンター設定**ボタンをクリックします。
   c. **FBPL** タブをクリックします。
   d. **プリント後の動作**ドロップダウンリストで、**剥離**を選択します。
   e. **設定**をクリックします。

   f. **給紙／一時停止**ボタンを押して、テストします。



お願い

- ハクリユニットは、合成紙等の特殊材質ラベルには対応していません。
- プリンター設定は液晶ディスプレーからでも変更できます。

4.印刷

4.1 プリンタードライバーのインストール

お願い

モデル名とシリアル番号は、プリンター底面を確認してください。

ドライバーインストールの方法は、接続方式によって異なります。

- USB接続（Windows/Mac/Linux）
- Bluetooth接続（Windows）
- Wi-Fiネットワーク接続（Windows）
- 有線ネットワーク接続（Windows）

4.1.1 USB 接続（Windows/Mac/Linux）

お願い

Mac/Linux を使用する場合

ドライバーインストールの詳細については、ドライバー付属のインストールガイドを参照してください。

1. USB ケーブルを使用して、お使いになるプリンターをパソコンに接続します。
2. support.brother.com にアクセスし、お使いのモデルの**ダウンロード**ページで、最新のプリンタードライバーとソフトウェアをダウンロードします。
3. Seagull Driver Wizard アプリを実行します。**プリンタードライバのインストール**を選択し、次に **USB** を選択します。
4. 画面上の操作案内に従ってください。

お願い

プリンタードライバーをインストールできないとき：

- 手動でプリンタードライバーをインストールします。
  Seagull Driver Wizard アプリで**プリンタードライバのインストール**を選択した後、**その他**を選択してください。
- 既存のプリンタードライバーを削除します。
  Seagull Driver Wizard アプリで**プリンタドライバの削除**を選択した後、 **すべてのシーガル・ドライバを自動的に削除します**または**プリンタドライバ削除詳細設定オプションを使用**を選択してください。
- プリンター設定をリセットします。
  BPM を実行し、**メンテナンス** > **工場出荷設定**をクリックしてください。

4.1.2 Bluetooth 接続（Windows）

1. Bluetooth デバイス名を確認します。

   - BPM を使用する
     a. USB ケーブルを使用して、プリンターをパソコンに接続します。
     b. **プリンター設定** > **Bluetooth** をクリックします。
   - 液晶ディスプレーにて、
     インターフェイス > **Bluetooth** を選択します。

2. お使いのパソコンの Bluetooth 機能をオンにします。
3. **スタート** > **設定** > **デバイス** > **Bluetooth とその他のデバイス**にて、お使いのパソコンとプリンターをペアリングします。
4. **Bluetooth またはその他のデバイスを追加する**を選択し、プリンターを選択します。
5. support.brother.com にアクセスし、お使いのモデルの**ダウンロード**ページで、最新のプリンタードライバーとソフトウェアをダウンロードします。
6. Seagull Driver Wizard アプリを実行します。**プリンタードライバのインストール**を選択し、次に **Bluetooth** を選択します。
7. 画面上の操作案内に従ってください。

お願い

プリンタードライバーをインストールできないとき：

- 既存のプリンタードライバーを削除します。
  Seagull Driver Wizard アプリで**プリンタドライバの削除**を選択した後、 **すべてのシーガル・ドライバを自動的に削除します**または**プリンタドライバ削除詳細設定オプションを使用**を選択してください。
- プリンター設定をリセットします。
  BPM を実行し、**メンテナンス** > **工場出荷設定**をクリックしてください。

4.1.3 Wi-Fi ネットワーク接続（Windows）

お使いの無線ルーターまたはアクセスポイントと、プリンターのネットワークが正しく設定されていることを確認してください。詳細は、お使いの無線ルーターまたはアクセスポイントに付属の説明書をご覧になるか、製造元メーカー、システム管理者、またはインターネットサービスプロバイダーにご確認ください。

1. ネットワーク設定を行います。

- BPM を使用する
  a. USB ケーブルを使用して、お使いになるプリンターをパソコンに接続します。
  b. **プリンター設定** > **Wi-Fi** をクリックします。
  c. **SSID**、**暗号化方式**、**キー**（ネットワークパスワード）を指定し、**設定**をクリックします。
  d. **取得**をクリックし、プリンターの IP アドレスが正しいことを確認します。
  完了すると、Wi-Fi アイコンとプリンターの IP アドレスが液晶ディスプレーに表示されます。

- 液晶ディスプレーを使用する
  a. **インターフェイス** > **Wi-Fi** を選択します。
  b. **SSID**、**暗号化方式**、**パスワード**を指定します。
  c. 完了すると、Wi-Fi アイコンとプリンターの IP アドレスが液晶ディスプレーに表示されます。

2. support.brother.com にアクセスし、お使いのモデルの**ダウンロード**ページで、最新のプリンタードライバーとソフトウェアをダウンロードします。
3. Seagull Driver Wizard アプリを実行します。**プリンタードライバのインストール**を選択し、次に**ネットワーク**を選択します。
4. お使いのプリンターを選択し、**次へ**をクリックします。
5. お使いになる TCP/IP ポートがリストに表示されていないときは、**ポートの追加**をクリックし、**Standard TCP/IP port** > **新規ポート** を選択します。
6. お使いのプリンターの IP アドレスとポート名を入力し、**次へ**をクリックします。
7. **完了**をクリックします。
8. **ポートの指定**画面に戻り、追加したポートを選択します。
9. 画面上の操作案内に従ってください。

お願い

プリンタードライバーをインストールできないとき：

- 既存のプリンタードライバーを削除します。
  Seagull Driver Wizard アプリで**プリンタドライバの削除**を選択した後、 **すべてのシーガル・ドライバを自動的に削除します**または**プリンタドライバ削除詳細設定オプションを使用**を選択してください。
- プリンター設定をリセットします。
  BPM を実行し、**メンテナンス** > **工場出荷設定**をクリックしてください。

4.1.4 有線ネットワーク接続（Windows）

1. プリンターとパソコンを、LAN ケーブルを使用してお使いのルーターまたはアクセスポイントに接続します。プリンターが自動的に初期 IP アドレスを取得し、液晶ディスプレーに表示します。
2. support.brother.com にアクセスし、お使いのモデルの**ダウンロード**ページで、最新のプリンタードライバーとソフトウェアをダウンロードします。
3. Seagull Driver Wizard アプリを実行します。**プリンタードライバのインストール**を選択し、次に**ネットワーク**を選択します。
4. お使いのプリンターを選択し、**次へ**をクリックします。
5. お使いになる TCP/IP ポートがリストに表示されていないときは、**ポートの追加**をクリックし、**Standard TCP/IP port** > **新規ポート** を選択します。
6. お使いのプリンターの IP アドレスとポート名を入力し、**次へ**をクリックします。
7. **完了**をクリックします。
8. **ポートの指定**画面に戻り、追加したポートを選択します。
9. 画面上の操作案内に従ってください。

お願い

プリンタードライバーをインストールできないとき：

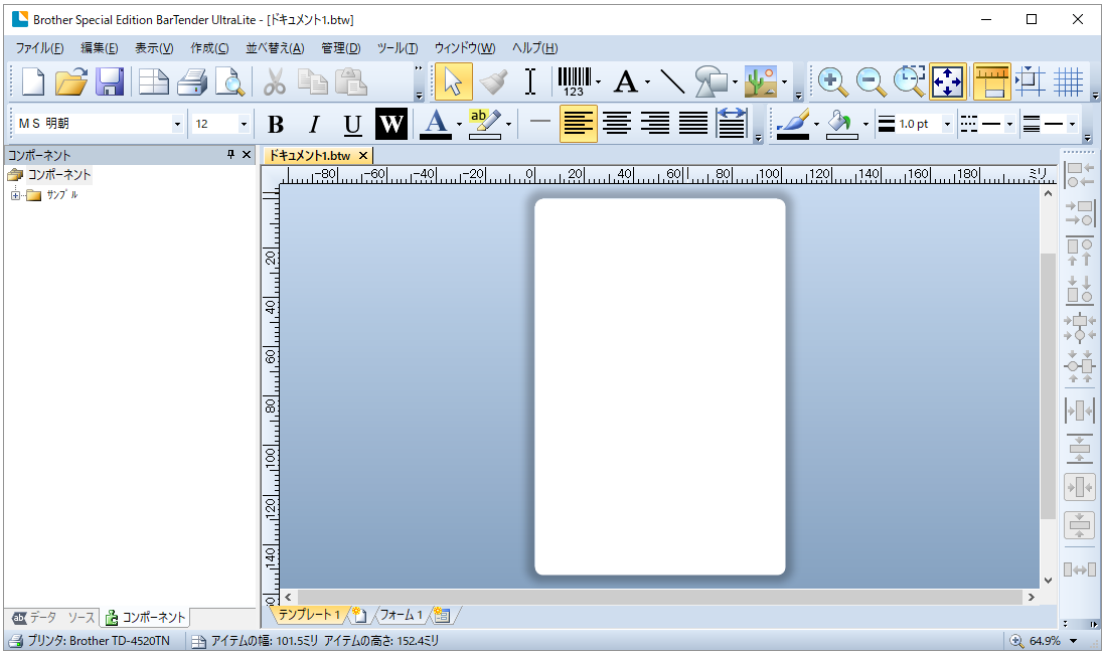
- 既存のプリンタードライバーを削除します。
  Seagull Driver Wizard アプリで**プリンタドライバの削除**を選択した後、 **すべてのシーガル・ドライバを自動的に削除します**または**プリンタドライバ削除詳細設定オプションを使用**を選択してください。
- プリンター設定をリセットします。
  BPM を実行し、**メンテナンス** > **工場出荷設定**をクリックしてください。

4.2 BarTender を使用してラベルを作成・印刷する

BarTender は、support.brother.com にある製品ページのソフトウェアダウンロードから無償でダウンロード可能なラベル作成ソフトウェアです。
本ソフトウェアは Windows のみ対応です。

1. BarTender を起動します。

2. 画面の案内に従い、ラベルを作成します。



お願い

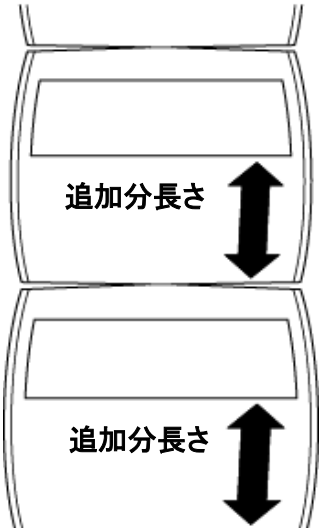
BarTender の使い方については、メニューバーから**ヘルプ** > 「**はじめに」マニュアル**をクリックして、BarTender スタートガイドを確認してください。

3. メニューバーから**ファイル** > **印刷**をクリックし、作成したラベルを印刷します。

部分カット選択時の注意

印刷動作の設定で部分カットを選択すると、下図のように印字エリアとカットラインの間に空白エリアが約 40mm 発生します。

※部分カットはカッターユニット装着時のみ可能です。



5.操作

5.1 パワーオンユーティリティ

プリンターの機能を設定したり、テストするためのパワーオンユーティリティが 6 つあります。

パワーオンユーティリティの起動方法
1.プリンターの電源をオフにします。
2.**給紙／一時停止**ボタンを押しながらプリンターの電源を入れます。
3.LED が設定・テストしたい機能を示しているときにボタンを離します。

パワーオンユーティリティ	LED のパターン						
LED の色 ／ 機能	黄色（点灯）	赤色／黄色（5 回）	黄色（5 回）	緑色／赤色（5 回）	緑色（5 回）	赤色（5 回）	緑色（点灯）
1.ギャップセンサー／ブラックマークセンサーのキャリブレーション		○					
2.ギャップセンサー／ブラックマークセンサーのキャリブレーション、セルフテスト、ダンプモードに入る			○				
3.プリンターの初期化				○			
4.メディアセンサーのキャリブレーション（ブラックマークセンサー用）					○		
5.メディアセンサーのキャリブレーション（ギャップセンサー用）						○	
6.AUTO.BAS プログラムをスキップする							○

5.1.1 ギャップセンサー／ブラックマークセンサーのキャリブレーション

次の場合は、ギャップセンサー／ブラックマークセンサー感度のキャリブレーションを行ってください。

- 新しいプリンターを購入したとき
- 使用するラベルの種類を変更したとき
- プリンターの初期化を行ったとき

ギャップセンサー／ブラックマークセンサーのキャリブレーション方法：
1.プリンターの電源をオフにします。
2.**給紙／一時停止**ボタンを押しながらプリンターの電源を入れます。
3.LED が赤色／黄色に点滅したら、ボタンを離します。

お願い

- LED の色は次のように変化します。
  黄色（点灯） → **赤色／黄色（5 回）** → 黄色（5 回） → 緑色／赤色（5 回） → 緑色（5 回） → 赤色（5 回） → 緑色（点灯）
- キャリブレーションを行うセンサーを選ぶには、適切なコマンドをプリンターに送信してください。
  ・ギャップセンサー：GAP コマンドを送信します。
  ・ブラックマークセンサー：BLINE コマンドを送信します。
  使用できるコマンドの詳細については、support.brother.com のお使いのモデルの**製品マニュアル**ページより、*FBPL コマンドリファレンス*を参照してください。

5.1.2 ギャップセンサー／ブラックマークセンサーのキャリブレーション、セルフテスト、ダンプモードに入る

前回の印刷ジョブで使用したセンサーの設定が今回のジョブに合っていない場合は、ギャップセンサーまたはブラックマークセンサーのキャリブレーションを行います。ギャップセンサー／ブラックマークセンサーのキャリブレーション中、プリンターはラベル長さを検出し、内部設定を印刷（セルフテスト）し、その後ダンプモードに入ります。

ギャップセンサー／ブラックマークセンサーのキャリブレーション方法
1.プリンターの電源をオフにします。
2.**給紙／一時停止**ボタンを押しながらプリンターの電源を入れます。
3.LED が黄色に点滅したら、ボタンを離します。

お願い

LED の色は次のように変化します。
黄色（点灯） → 赤色／黄色（5 回） → **黄色（5 回）** → 緑色／赤色（5 回） → 緑色（5 回） → 赤色（5 回） → 緑色（点灯）

4.プリンターはセンサーのキャリブレーションを行い、ラベル長さを検出し、内部設定を印刷し、その後ダンプモードに入ります。

お願い

キャリブレーションを行うセンサーを選ぶには、適切なコマンドをプリンターに送信してください。

- ギャップセンサー：GAP コマンドを送信します。
- ブラックマークセンサー：BLINE コマンドを送信します。

使用できるコマンドの詳細については、support.brother.com のお使いのモデルの**製品マニュアル**ページより、*FBPL コマンドリファレンス*を参照してください。

■ セルフテスト

ギャップセンサー／ブラックマークセンサーのキャリブレーションを行った後は、プリンターの設定を印刷します。セルフテスト印刷ではプリンターの設定と使用可能なメモリー容量が印刷され、また、発熱部品でドットの損傷がないかどうかが分かります。

セルフテスト印刷

```
------------------------------
     SYSTEM INFORMATION
------------------------------
       MODEL: XXXXXX
    FIRMWARE: X.XX
    CHECKSUM: XXXXXXXX
         S/N: XXXXXXXXXXX
         TCF: NO
        DATE: 1970/01/01
        TIME: 00:04:18
   NON-RESET: 110      m (TPH)
       RESET: 110      m (TPH)
   NON-RESET: 0          (CUT)
       RESET: 0          (CUT)
     BAD DOT: 0
------------------------------
```

モデル名
ファームウェアバージョン
ファームウェアチェックサム
プリンターシリアル番号
設定ファイル
システムデータ
システム時間
印刷済み長さ(m)
カッティングカウンター
損傷しているドットの数

```
------------------------------
      PRINTING SETTING
------------------------------
       SPEED: 5 IPS
     DENSITY: 8.0
       WIDTH: 4.00 INCH
      HEIGHT: 4.00 INCH
         GAP: 0.00 INCH
   INTENSION: 5
    CODEPAGE: 850
     COUNTRY: 001
------------------------------
```

印刷速度(インチ／秒)
印刷濃度
ラベルサイズ(インチ)
ギャップ距離(インチ)
ギャップセンサー／ブラックマークセンサー感度
コードページ
国コード

```
------------------------------
          Z SETTING
------------------------------
    DARKNESS: 16.0
       SPEED: 4 IPS
       WIDTH: 4.00 INCH
       TILDE: 7EH  (~)

       CARET: 5EH  (^)
   DELIMITER: 2CH  (,)
    POWER UP: NO MOTION
  HEAD CLOSE: NO MOTION
------------------------------
```

印刷濃度
印刷速度(インチ／秒)
ラベルサイズ
制御接頭文字
フォーマット接頭文字
区切り文字接頭文字
プリンターパワーアップ動作
印字ヘッドクローズ動作

```
------------------------------
        RS232 SETTING
------------------------------
        BAUD: 9600
      PARITY: NONE
    DATA BIT: 8
    STOP BIT: 1
------------------------------
```

RS232 シリアルポート設定

セルフテスト印刷

```
-----------------------------
        BT SETTING
-----------------------------
     MAC ADDR: 00:80:A3:D9:1D:CD
         NAME: PS-
     PIN CODE:
MFi SUPPORTED: NO
 Module : xPico
-----------------------------
```

Bluetooth 設定

```
-----------------------------
        RFID SETTING
-----------------------------
 RFID FREQ: European Union 3
-----------------------------
```

RFID 周波数帯の国、地域
（TD-4750TNWBR のみ）

```
-----------------------------
      ETHERNET SETTING
-----------------------------
        NAME: XXXXX
    MAC ADDR: XXXXX
        DHCP: ON
     IP ADDR: 0.0.0.0
      SUBNET: 0.0.0.0
     GATEWAY: 0.0.0.0
        PORT: 9100
-----------------------------
```

プリンター名
Mac アドレス
DHCP
IP アドレス
サブネットマスク
ゲートウェイ
RAW ポート

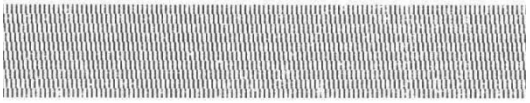
```
-----------------------------
       WiFi SETTING
-----------------------------
  APP VERSION: 3.5.1.0R3
  MAC ADDRESS: 00:80:A3:D9:1D:CE
       Region: United States
         SSID:
 DHCP ENABLED: YES
   IP ADDRESS:
  SUBNET MASK: 0.0.0.0
      GATEWAY:
 PRINTER NAME: PS-D91DCD
     RAW PORT: 9100
-----------------------------
```

Wi-Fi 設定

```
-----------------------------
     DRAM FILE (0 FILES)
-----------------------------
      PHYSICAL   XXXX KBYTES
     AVAILABLE   XXXX KBYTES
-----------------------------

-----------------------------
    FLASH FILE (0 FILES)
-----------------------------
      PHYSICAL   XXXX KBYTES
     AVAILABLE   XXXX KBYTES
-----------------------------
```

ダウンロード済みファイル数
合計および使用可能なメモリー
スペース



印字ヘッドチェックパターン

■ ダンプモード

お願い

- ダンプモードには幅 101.5mm の用紙を使用してください。
- 通常の印刷を再開にするには、プリンターの電源を一旦オフにしてから、オンにします。

プリンターはプリンター設定を印刷後、ダンプモードに入ります。ダンプモードを使用するとユーザーはプリンターのプログラムを確認し、デバッグできます。左の列の文字はプリンターシステムから受信したもので、右の列は 16 進表示です。

ASCII データ →

```
SPEED 2.0    53 50 45 45 44 20 32 2E 30 0D
 DENSITY 8   0A 44 45 4E 53 49 54 59 20 38
  SET PEEL   0D 0A 53 45 54 20 50 45 45 4C
 OFF  DIRE   20 4F 46 46 0D 0A 44 49 52 45
CTION 0  G   43 54 49 4F 4E 20 30 0D 0A 47
AP 3.00 mm   41 50 20 33 2E 30 30 20 6D 6D
,0.00 mm     2C 30 2E 30 30 20 6D 6D 0D 0A
REFERENCE    52 45 46 45 52 45 4E 43 45 20
0,0  SET C   30 2C 30 0D 0A 53 45 54 20 43
UTTER OFF    55 54 54 45 52 20 4F 46 46 0D
 SIZE 100.   0A 53 49 5A 45 20 31 30 30 2E
02 mm,65.0   30 32 20 6D 6D 2C 36 35 2E 30
4 mm  CLS    34 20 6D 6D 0D 0A 43 4C 53 0D
 BARCODE 1   0A 42 41 52 43 4F 44 45 20 31
44,149,"39   34 34 2C 31 34 39 2C 22 33 39
",120,1,0,   22 2C 31 32 30 2C 31 2C 30 2C
2,6,"57114   32 2C 36 2C 22 35 37 31 31 34
38T"  PRIN   33 38 54 22 0D 0A 50 52 49 4E
T 1,1  SPE   54 20 31 2C 31 0D 0A 53 50 45
ED 2,0  DE   45 44 20 32 2E 30 0D 0A 44 45
NSITY 8  S   4E 53 49 54 59 20 38 0D 0A 53

ET PEEL OF   45 54 20 50 45 45 4C 20 4F 46
F  DIRECTI   46 0D 0A 44 49 52 45 43 54 49
ON 0  GAP    4F 4E 20 30 0D 0A 47 41 50 20
3.00 mm,0.   33 2E 30 30 20 6D 6D 2C 30 2E
00 mm  REF   30 30 20 6D 6D 0D 0A 52 45 46
ERENCE 0,0   45 52 45 4E 43 45 20 30 2C 30
  SET CUTT   0D 0A 53 45 54 20 43 55 54 54
ER OFF  SI   45 52 20 4F 46 46 0D 0A 53 49
ZE 100.02    5A 45 20 31 30 30 2E 30 32 20
mm,65.04 m   6D 6D 2C 36 35 2E 30 34 20 6D
m  CLS  BA   6D 0D 0A 43 4C 53 0D 0A 42 41
RCODE 144,   52 43 4F 44 45 20 31 34 34 2C
149,"39",1   31 34 39 2C 22 33 39 22 2C 31
20,1,0,2,6   32 30 2C 31 2C 30 2C 32 2C 36
,"5711438T   2C 22 35 37 31 31 34 33 38 54
"  PRINT 1   22 0D 0A 50 52 49 4E 54 20 31
,1           2C 31 0D 0A
```

← ASCII データの 16 進表示

5.1.3 プリンターの初期化

プリンターを初期化するとプリンターの DRAM のデータを削除し、初期設定に戻します。

1.プリンターの電源をオフにします。

2.**給紙／一時停止**ボタンを押しながらプリンターの電源を入れます。

3.LED が緑色／赤色に点滅したら、ボタンを離します。

お願い

LED の色は次のように変化します。

黄色（点灯） → 赤色／黄色（5 回） → 黄色（5 回） → **緑色／赤色（5 回）** → 緑色（5 回） → 赤色（5 回） → 緑色（点灯）

初期化後、次の初期設定に戻ります。

パラメーター	工場出荷時の設定
速度	76mm／秒 (3ips)
濃度	8
ラベル幅	101.5mm
ラベル高さ	101.5mm
センサー種類	ブラックマークセンサー
ギャップ設定	3mm
印刷方向	0
レファレンスポイント	0,0（左上角）
オフセット	0
ティアモード	オン
ハクリモード	オフ
カッターモード	オフ
コードページ	850
国コード	001
フラッシュメモリーの削除	しない

5.1.4 メディアセンサーのキャリブレーション（ブラックマークセンサー用）

1.プリンターの電源をオフにします。
2.**給紙／一時停止**ボタンを押しながらプリンターの電源を入れます。
3. LED が緑色に点滅したら、ボタンを離します。

お願い
LED の色は次のように変化します。
黄色（点灯） → 赤色／黄色（5 回） → 黄色（5 回） → 緑色／赤色（5 回） → **緑色（5 回）** → 赤色（5 回） → 緑色（点灯）

5.1.5 メディアセンサーのキャリブレーション（ギャップセンサー用）

1.プリンターの電源をオフにします。
2.**給紙／一時停止**ボタンを押しながらプリンターの電源を入れます。
3. LED が赤色に点滅したら、ボタンを離します。

お願い
LED の色は次のように変化します。
黄色（点灯） → 赤色／黄色（5 回） → 黄色（5 回） → 緑色／赤色（5 回） → 緑色（5 回） → **赤色（5 回）** → 緑色（点灯）

5.1.6 AUTO.BAS プログラムをスキップする

AUTO.BAS プログラムをプリンターのフラッシュメモリーにアップロードすると、起動時にプログラムを自動的に実行させることができます。自動実行させない場合は、次の手順を行います。

1.プリンターの電源をオフにします。
2.**給紙／一時停止**ボタンを押しながらプリンターの電源を入れます。
3.LED が緑色に点灯したら、ボタンを離します。

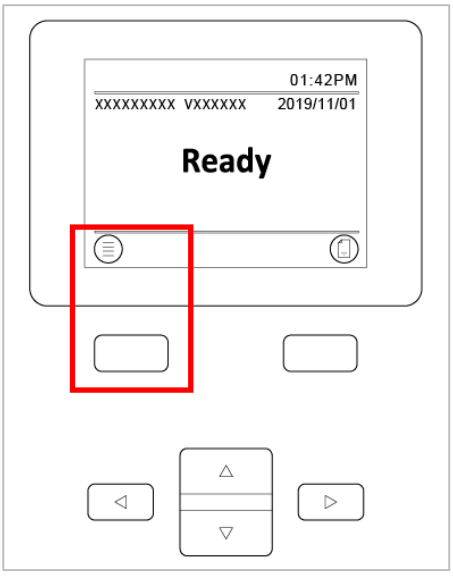
お願い
LED の色は次のように変化します。
黄色（点灯） → 赤色／黄色（5 回） → 黄色（5 回） → 緑色／赤色（5 回） → 緑色（5 回） → 赤色（5 回） → **緑色（点灯）**

4.プリンター起動時に AUTO.BAS プログラムは実行されません。

6.液晶ディスプレーの概要

6.1 メインメニューを表示する

プリンターの液晶ディスプレーに「Ready」と表示されていることを確認します。表示されていない場合は、**メニュー**アイコンを選択します。



メインメニューの項目を移動するには、**ナビゲーション**ボタンを使用します。

- ハイライトされたアイコンの選択を確定するには、アイコンの下のボタンを押します。
- 前の画面に戻るには、アイコンの下のボタンを押します。

6.2 メインメニューの概要

プリンターをパソコンに接続せずに、メインメニューの項目からプリンター設定を行うことができます。

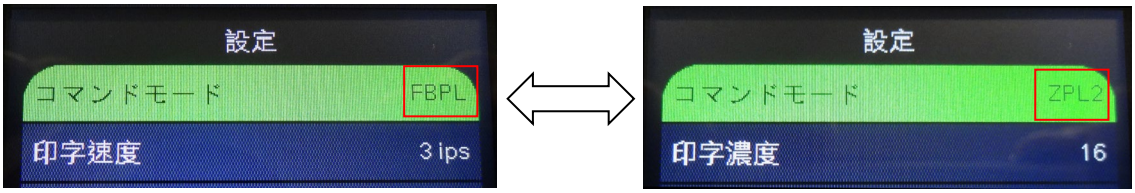
アイコン	項目	説明
	設定	プリンターの FBPL および ZPL2 設定を行います。
	センサー調整	選択した用紙センサーのキャリブレーションを行います。用紙を変更するたびにセンサーのキャリブレーションをすることをお勧めします。
	インターフェイス	プリンターのインターフェイス設定を行います。
	詳細設定	プリンターの液晶ディスプレー初期化、用紙切れアラートの設定を行います。
	ファイル管理	使用可能なプリンターのメモリーを確認・管理します。
	プリンタ診断	問題解決に役立てるため、プリンターのステータスを確認します。

6.3 設定メニュー

1.メインメニューで、**設定**を選択します。

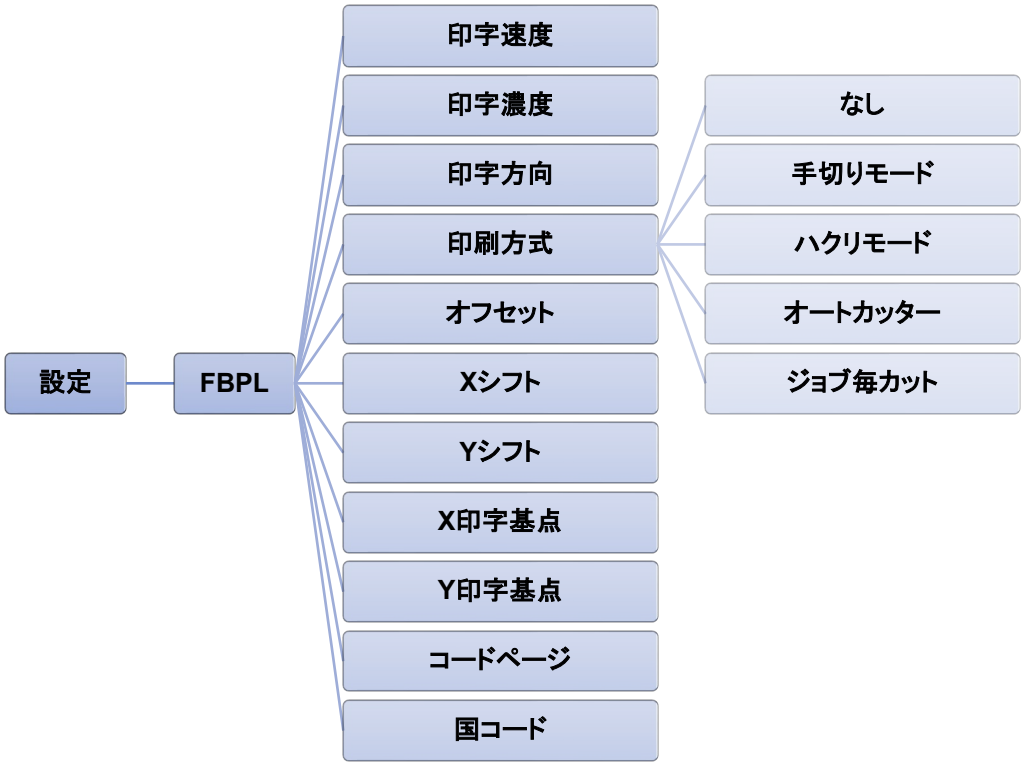
2.**コマンドモード**を押し、使用するプログラム言語を選択します。

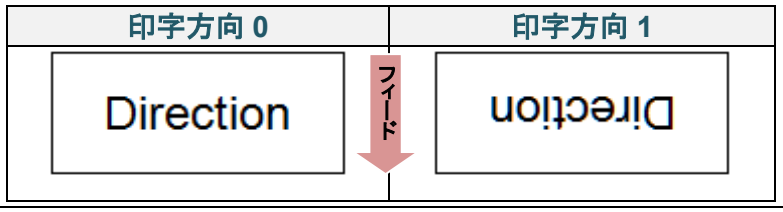
3.アイコンを選択します。



6.3.1 FBPL 設定

次の FBPL 設定を使用できます。



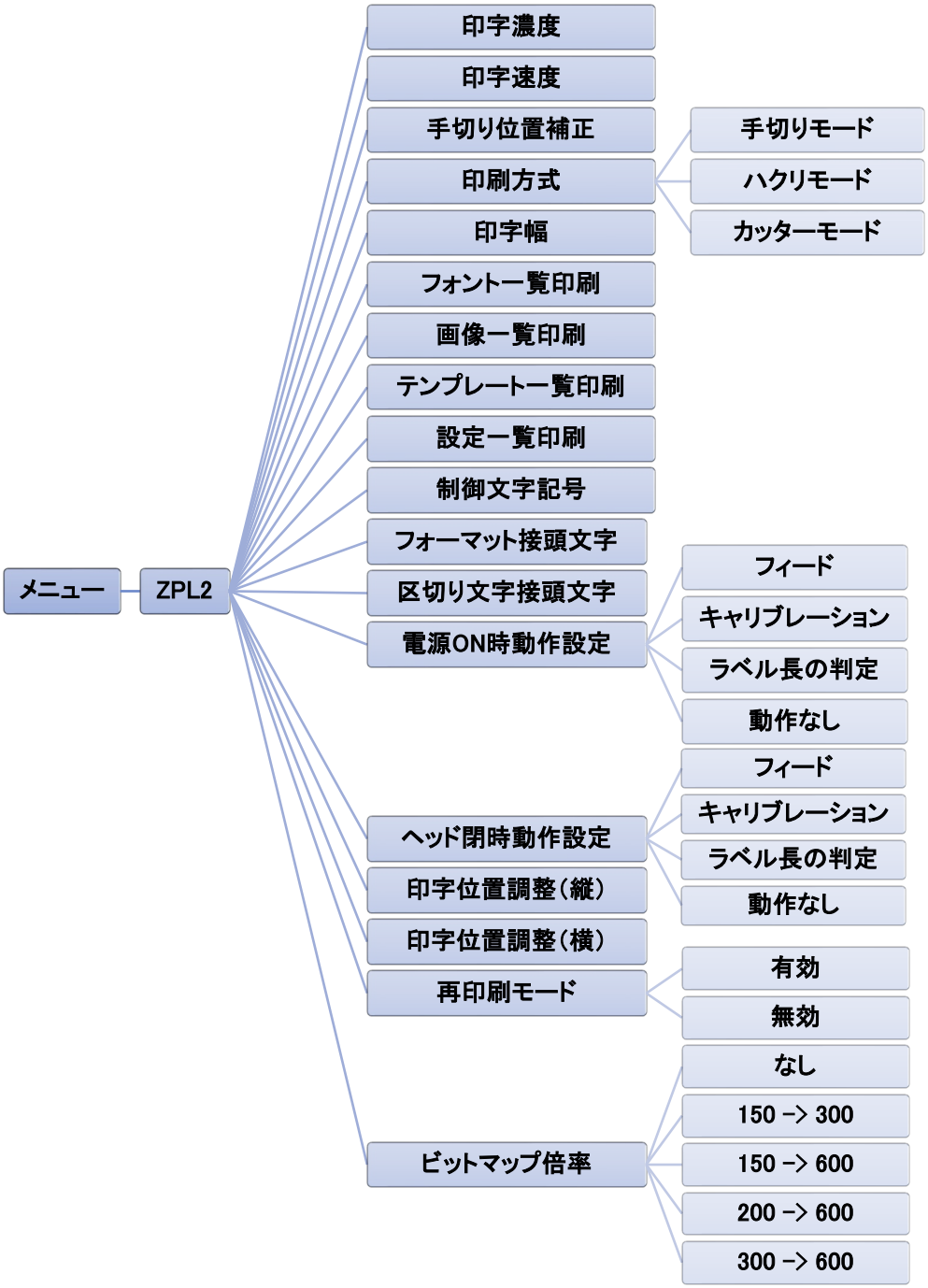
<table>
<tr><th>設定</th><th>説明</th></tr>
<tr><td>印字速度</td><td>印刷速度を設定します。</td></tr>
<tr><td>印字濃度</td><td>印刷濃度を調節します。設定範囲は 0～15 です。用紙により、印刷濃度の調節が必要な場合があります。</td></tr>
<tr><td>印字方向</td><td>印字方向を指定します。
 
</td></tr>
<tr><td>印刷方式</td><td>印刷方式を指定します。
<table>
<tr><th>印刷方式</th><th>説明</th></tr>
<tr><td>なし</td><td>次のラベルの上端を印字ヘッドの印刷ラインに合わせます。（手切りモード）</td></tr>
<tr><td>手切りモード</td><td>画像を印刷した後、手切りできるようギャップ／ブラックマークをティアプレート位置に送ります。</td></tr>
<tr><td>ハクリモード</td><td>ラベルを剥離するモードを有効にします。</td></tr>
<tr><td>オートカッター</td><td>ラベルをカットするモードを有効にします。</td></tr>
<tr><td>ジョブ毎カット</td><td>印刷ジョブの最後に一度ラベルをカットします。</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>オフセット</td><td>用紙の停止位置を微調整します。設定範囲は、-999～999 ドットです。</td></tr>
<tr><td>X シフト</td><td rowspan="2">印字位置を微調整します。設定範囲は、-999～999 ドットです。</td></tr>
<tr><td>Y シフト</td></tr>
<tr><td>X 印字基点</td><td rowspan="2">プリンターの縦、横方向の座標の基点を設定します。設定範囲は、0～999 ドットです。</td></tr>
<tr><td>Y 印字基点</td></tr>
<tr><td>コードページ</td><td>国際文字セットのコードページを設定します。</td></tr>
<tr><td>国コード</td><td>国コードを設定します。設定範囲は 1～358 です。</td></tr>
</table>

お願い

ダウンロードしたソフトウェア・ドライバーを使用して印刷する場合、液晶ディスプレーからの設定よりもソフトウェア・ドライバーのコマンドが優先されます。

6.3.2 ZPL2 設定

次の ZPL2 設定を使用できます。



設定	説明
印字濃度	印字濃度を設定します。設定範囲は 0～30 です。選択した用紙に合わせ、印刷濃度の調節が必要な場合があります。
印刷速度	印刷速度を設定します。設定範囲は次になります。 • 203dpi の場合、2～8 • 300dpi の場合、2～6

<table>
<tr><th>設定</th><th>説明</th></tr>
<tr><td>手切り位置補正</td><td>用紙の停止位置を微調整します。設定範囲は、-120～120 ドットです。</td></tr>
<tr><td>印刷方式</td><td>印刷方式を指定します。
<table>
<tr><th>印刷方式</th><th>説明</th></tr>
<tr><td>手切りモード</td><td>次のラベルの上端を印字ヘッドの印刷ラインに合わせます。</td></tr>
<tr><td>ハクリモード</td><td>ラベルを剥離するモードを有効にします。</td></tr>
<tr><td>カッターモード</td><td>ラベルをカットするモードを有効にします。</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>印字幅</td><td>印字幅を設定します。設定範囲は次になります。
• 203dpi の場合、2～864 ドットです
• 300dpi の場合、2～1248 ドットです</td></tr>
<tr><td>フォント一覧印刷</td><td>プリンターで使用できるフォントの一覧をラベルに印刷します。フォントはプリンターの DRAM、フラッシュメモリ、またはオプションのメモリーカードに保存できます。</td></tr>
<tr><td>画像一覧印刷</td><td>プリンターで使用できる画像の一覧をラベルに印刷します。画像はプリンターの DRAM、フラッシュメモリ、またはオプションのメモリーカードに保存できます。</td></tr>
<tr><td>テンプレート一覧印刷</td><td>プリンターで使用できるテンプレートの一覧をラベルに印刷します。テンプレートはプリンターの DRAM、フラッシュメモリ、またはオプションのメモリーカードに保存できます。</td></tr>
<tr><td>設定一覧印刷</td><td>現在のプリンター設定を印刷します。</td></tr>
<tr><td>制御文字記号</td><td>制御接頭文字を設定します。</td></tr>
<tr><td>フォーマット接頭文字</td><td>フォーマット接頭文字を設定します。</td></tr>
<tr><td>区切り文字接頭文字</td><td>区切り文字接頭文字を設定します。</td></tr>
<tr><td>電源 ON 時動作設定</td><td>プリンターの電源をオンにしたときの用紙動作を設定します。
<table>
<tr><th>動作</th><th>説明</th></tr>
<tr><td>フィード</td><td>プリンターがラベルを一枚送ります。</td></tr>
<tr><td>キャリブレーション</td><td>プリンターがセンサーレベルのキャリブレーションを行い、ラベル長を判定した後、ラベルを一枚送ります。</td></tr>
<tr><td>ラベル長の判定</td><td>プリンターがラベル長を判定した後、ラベルを送ります。</td></tr>
<tr><td>動作なし</td><td>何もしません。</td></tr>
</table></td></tr>
</table>

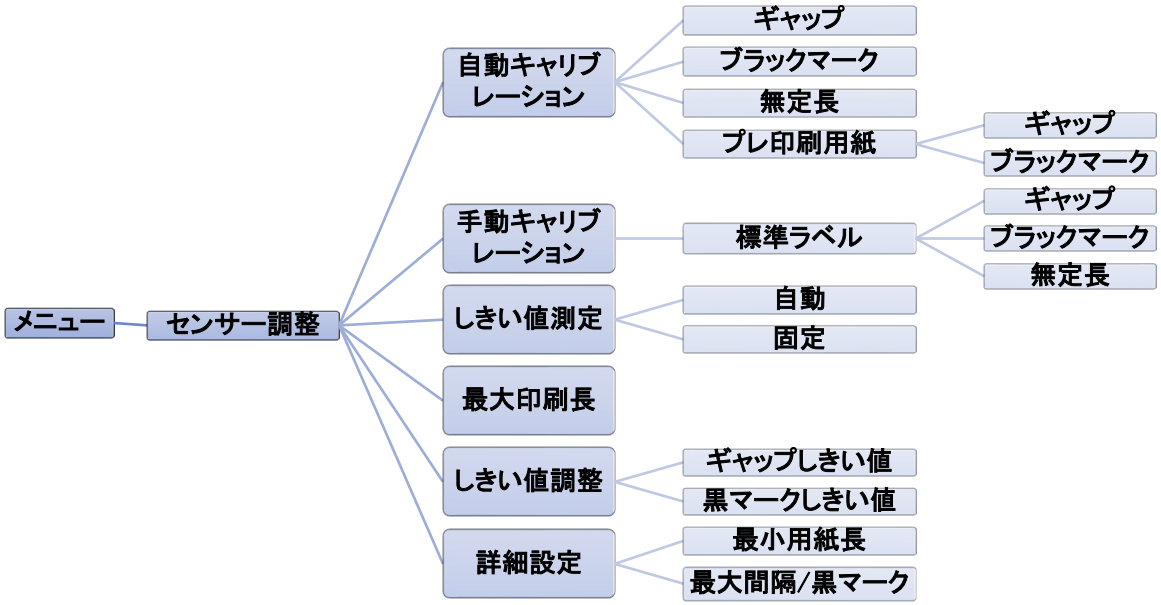
<table>
<tr><td>ヘッド閉時動作設定</td><td>印字ヘッドを閉じたときの用紙動作を設定します。
<table><tr><th>動作</th><th>説明</th></tr><tr><td>フィード</td><td>プリンターがラベルを一枚送ります。</td></tr><tr><td>キャリブレーション</td><td>プリンターがセンサーレベルのキャリブレーションを行い、ラベル長を判定した後、ラベルを一枚送ります。</td></tr><tr><td>ラベル長の判定</td><td>プリンターがラベル長を判定した後、ラベルを送ります。</td></tr><tr><td>動作なし</td><td>何もしません。</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>印字位置調整（縦）</td><td>ラベル上の印字位置を縦方向に調節します。設定範囲は、-120～+120 ドットです。</td></tr>
<tr><td>印字位置調整（横）</td><td>ラベル上の印字位置を横方向に調節します。設定範囲は、-9999～+9999 ドットです。</td></tr>
<tr><td>再印刷モード</td><td>設定パネルの上矢印（△）ボタンを押すと、直前のラベルを再印刷します。</td></tr>
<tr><td>ビットマップ倍率</td><td>ビットマップを拡大する倍率を選択します。最初の数字が元の DPI 値で、二つ目の数字が設定後の DPI 値です。</td></tr>
</table>

お願い

ダウンロードしたソフトウェア・ドライバーを使用して印刷する場合、液晶ディスプレーからの設定よりもソフトウェア・ドライバーのコマンドが優先されます。

6.4 センサー調整

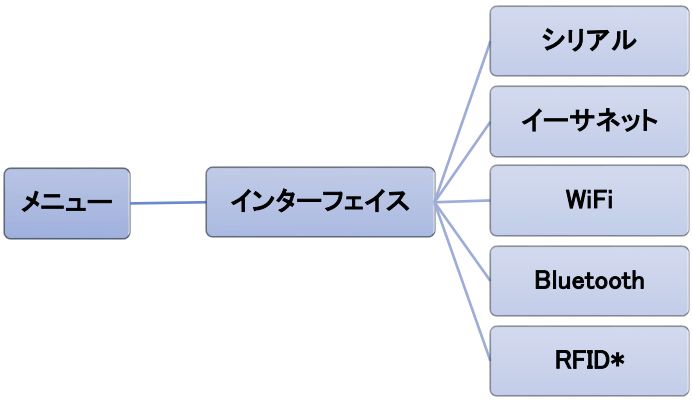
用紙を変更するたびにセンサーのキャリブレーションをすることをお勧めします。



設定	説明
自動キャリブレーション	用紙センサーの種類を設定すると、自動的に選択したセンサーのキャリブレーションを行います。プリンターが最大 3 ギャップ分のラベルを送り、自動的にセンサー感度のキャリブレーションを行います。
手動キャリブレーション	現在の用紙で「自動」機能が実行できない場合、「手動」機能を使用してください。用紙長さ・ギャップ／BLINE サイズを設定し、バッキング／マークをスキャンして、センサー感度のキャリブレーションを行います。
しきい値測定	センサー感度を、固定か自動に設定します。
最大印刷長	ラベルキャリブレーションを行うための最大印刷長を設定します。
しきい値調整	ダイカット紙ラベルにおけるギャップ（間隔）検出、またはブラックマーク検出の感度を調節します。
詳細設定	センサー感度を自動でキャリブレーションする場合の最小用紙長さと最大ギャップ／BLINE 長さを設定します。

6.5 インターフェイス設定

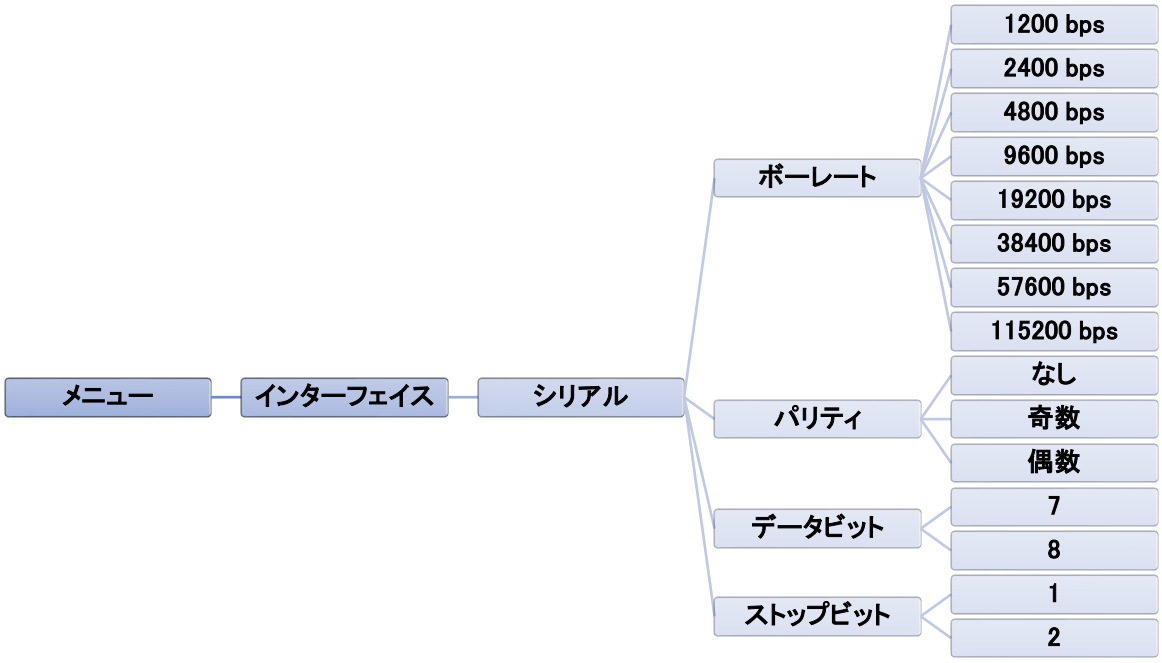
プリンターのインターフェイス設定を行います。



＊TD-4750TNWBR で使用可能

6.5.1 シリアル通信設定

プリンターの RS-232 設定を行います。

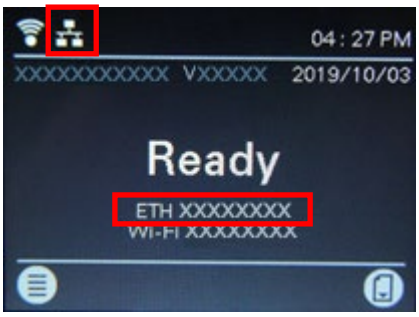


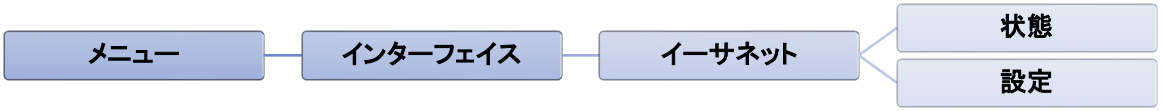
設定	説明
ボーレート	RS-232 通信のボーレートを設定します。
パリティ	RS-232 通信のパリティを設定します。
データビット	RS-232 通信のデータビットを設定します。
ストップビット	RS-232 通信のストップビットを設定します。

6.5.2 イーサネット設定

お使いのプリンターのイーサネット（有線）接続を設定し、その状態を確認できます。

イーサネット接続している場合、下図のようにイーサネットアイコンと IP アドレスが液晶ディスプレーに表示されます。





項目	説明
状態	イーサネット IP アドレス、MAC アドレスの設定を確認します。
設定	**DHCP**： DHCP ネットワークプロトコルを有効（オン）または無効（オフ）にします。 **Static IP**： プリンターの IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを設定します。

お願い

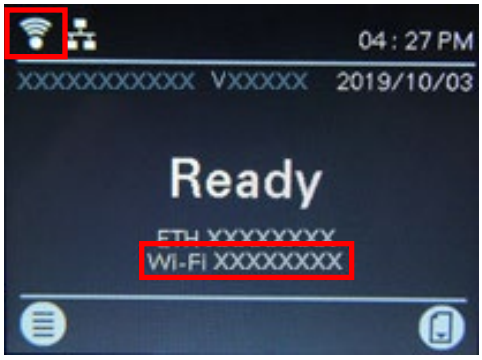
プリンタードライバーのインストールについては、*4.1.4 有線ネットワーク接続（Windows）*を参照してください。

6.5.3 Wi-Fi 設定

お使いのプリンターの Wi-Fi 接続を設定し、その状態を確認できます。

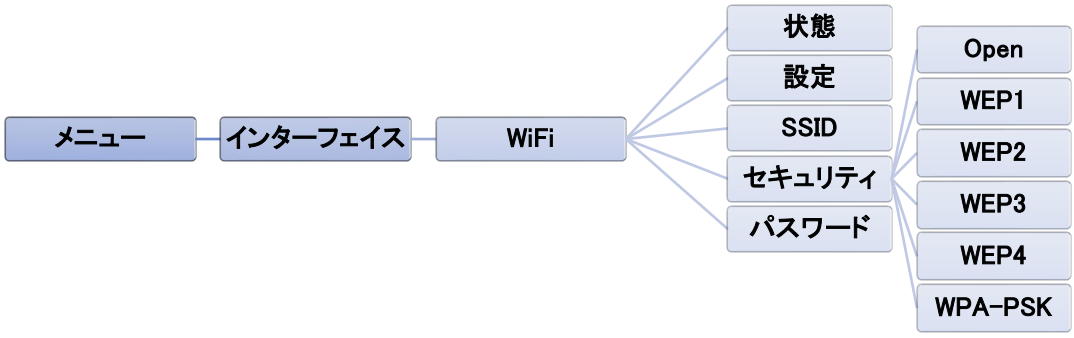
この機能を使用するには、BPM にてエンタープライズ構成を設定します。BPM による Wi-Fi 設定の詳細については、support.brother.com のお使いのモデルの**製品マニュアル**ページより、*Brother Printer Management Tool クイックスタートガイド*を参照してください。

Wi-Fi モジュールを接続している場合、下図のように Wi-Fi アイコンと IP アドレスが液晶ディスプレーに表示されます。



お願い

お使いの無線ルーターまたはアクセスポイントと、プリンターのネットワークが正しく設定されていることを確認してください。詳細は、お使いの無線ルーターまたはアクセスポイントに付属の説明書をご覧になるか、製造元メーカー、システム管理者、またはインターネットサービスプロバイダーにご確認ください。



項目	説明
状態	Wi-Fi 通信の IP アドレスと MAC アドレスの設定を確認します。
設定	**DHCP**: DHCP ネットワークプロトコルを有効(オン)または無効(オフ)にします。 **Static IP**: プリンターの IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを設定します。
SSID	SSID(ネットワーク名)を設定します。
セキュリティ	Wi-Fi 通信の暗号化方式を選択します。
パスワード	パスワード(ネットワークキー)を設定します。

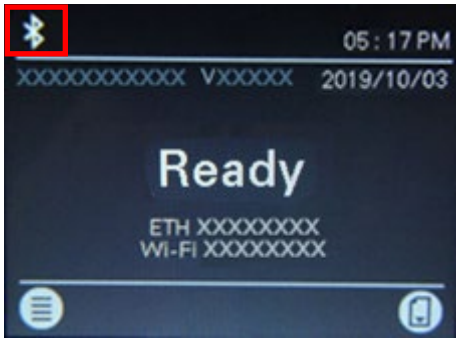
お願い

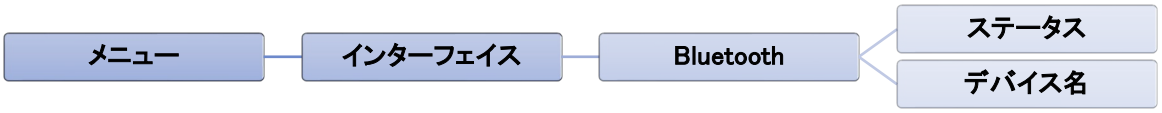
プリンタドライバーのインストールについては、*4.1.3 Wi-Fiネットワーク接続(Windows)*を参照してください。

6.5.4 Bluetooth 設定

お使いのプリンターの Bluetooth 接続の設定、その状態の確認、デバイス名のリセットを行います。

お使いの携帯端末でプリンターを検出、接続するには、プリンターの Bluetooth 機能を有効にします。





項目	説明
ステータス	Bluetooth 設定を確認します。
デバイス名	Bluetooth デバイス名をリセットします。

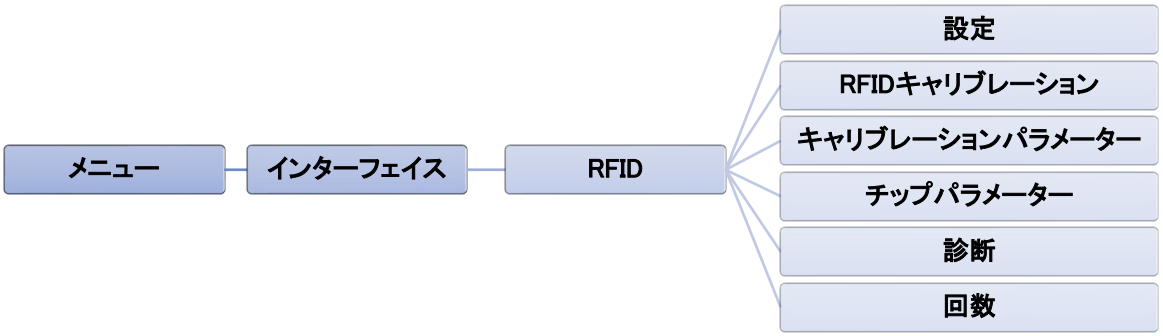
お願い

プリンタドライバーのインストールの詳細については、*4.1.2 Bluetooth接続(Windows)*を参照してください。

6.5.5 RFID 設定

プリンターの RFID 設定を行います。

（TD-4750TNWBR のみ使用可能）



<table>
<tr><th>項目</th><th>説明</th></tr>
<tr><td>設定</td><td>
<table>
<tr><td>RFID 有効</td><td>RFID エンコーダーモジュールを有効にするには、「有効」を選択します。</td></tr>
<tr><td>エラー処理</td><td>RFID エラーが発生した場合の処理モードを選択します。
<table>
<tr><td>不良タグ印字（初期設定）</td><td>処理に失敗したそれぞれのラベルに不良タグを印字し、再試行回数に設定した枚数だけ新しいラベルで当該の印刷を再試行します。エラーメッセージを表示するか、ラベルを再印刷するかは、最大試行回数時エラーの設定によります。</td></tr>
<tr><td>なし</td><td>書き込みに失敗した場合、何の動作も行いません。</td></tr>
<tr><td>停止</td><td>プリンターは停止し、「タグの読み取りができませんでした：媒体を確認してください」というエラーメッセージを表示します。ラベルは廃棄扱いとなり、再印刷するには、ホストから操作する必要があります。エラーが解除されると不良タグのラベルを送り、次のラベルを印字位置に合わせます。</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>再試行回数</td><td>RFID エンコーダーがエラーを判定するまでの再試行回数を指定します。このエラーの原因は、RFID エンコーダー、プリンター設定、またはラベル残量の問題が考えられます。
<table>
<tr><td>最小</td><td>1</td></tr>
<tr><td>最大</td><td>10（初期設定）</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>最大試行回数時エラー</td><td>再試行回数を超えた場合にエラーを出力するかどうか設定します。</td></tr>
<tr><td>EPC 書き込み</td><td>EPC 領域にどのようにエンコードするか制御します。</td></tr>
<tr><td>非 RFID コマンド受信警告</td><td>プリンターに RFID 用紙がセットされているのに、RFID コマンドのない印刷ジョブを受信した場合に警告を表示します。</td></tr>
</table>
</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>項目</th><th>説明</th></tr>
<tr><td>RFID キャリブレーション</td><td>このサブメニューは RFID キャリブレーションを行う場合に使用します。プリンターに新しいタグをセットしたときは、必ず RFID キャリブレーションを行ってください。RFID キャリブレーションにより、RFID チップの種類、書き込み／読み取り出力、プログラム位置、EPC／ユーザーフィールドの長さを判定します。
<table>
<tr><td>RFID キャリブレーション</td><td>RFID キャリブレーションを実行します。
RFID タグの種類を変更するたびに実行してください。</td></tr>
<tr><td>キャリブレーション回数</td><td>キャリブレーションに使用するタグの枚数を決定します。ただし、この値はキャリブレーション中、ギャップを検知するために移動するタグは含みません。セットしたタグのキャリブレーションの難易度により使用するラベルの枚数は前後しますが、一般的には、このメニューで大きな値を選択するほど、多くのタグがキャリブレーションに使用されます。通常、初期設定の（3）を選択します。
<table>
<tr><td>最小</td><td>3（初期設定）</td></tr>
<tr><td>最大</td><td>7</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>テスト EPC 長</td><td>RFID キャリブレーションの際に使用する EPC データのサイズを決定します。この値を増やすと RFID キャリブレーションの精度が上がりますが、使用しているタグがサポートする最大 EPC 長さを超えてはいけません。
<table>
<tr><td>最小</td><td>16</td></tr>
<tr><td>最大</td><td>256</td></tr>
<tr><td>初期設定</td><td>96</td></tr>
</table></td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>キャリブレーションパラメーター</td><td>最適なタグエンコーディングのために使用する設定値です。これらのパラメーターは RFID キャリブレーションにより自動的に取得できます。
<table>
<tr><td>書き込み開始位置</td><td>現在セットされているタグの RFID エンコーディングの位置が、印刷開始位置からどれだけ離れているか決定します。</td></tr>
<tr><td>書き込み出力</td><td>RFID エンコーダーが使用する書き込み出力のレベルを指定します。通常、この値は RFID キャリブレーションにより自動的に設定されるため、変更しないことを推奨します。
<table>
<tr><td>最小</td><td>1</td></tr>
<tr><td>最大</td><td>30</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>読み取り出力</td><td>RFID エンコーダーが使用する読み取り出力のレベルを指定します。通常、この値は RFID キャリブレーションにより自動的に設定されるため、変更しないことを推奨します。
<table>
<tr><td>最小</td><td>1</td></tr>
<tr><td>最大</td><td>30</td></tr>
</table></td></tr>
</table></td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>項目</th><th>説明</th></tr>
<tr><td>チップパラメーター</td><td>
これらの項目は、カスタム RFID タグを使用する場合のシステム設定に使用します。
<table>
<tr><td>USR サイズ</td><td>
RFID タグメモリー内の USR ブロックのバイト数を指定します。通常、この値は RFID キャリブレーションにより自動的に設定されるため、変更しないことを推奨します。
<table>
<tr><td>最小</td><td>0（初期設定）</td></tr>
<tr><td>最大</td><td>256</td></tr>
</table>
お願い
この項目は Higgs 3 タグを検出すると非表示になり、代わりに Higgs 3 USR Len メニューが表示されます。
</td></tr>
<tr><td>USR アドレス</td><td>
RFID タグメモリー内の USR ブロックの開始位置を指定します。通常、この値は RFID キャリブレーションにより自動的に設定されるため、変更しないことを推奨します。
<table>
<tr><td>最小</td><td>0（初期設定）</td></tr>
<tr><td>最大</td><td>32</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>TID サイズ</td><td>
タグ ID を含む、RFID タグメモリー内のメモリーブロックのサイズを表示します。通常、この値は RFID キャリブレーションにより自動的に設定されるため、変更しないことを推奨します。
<table>
<tr><td>最小</td><td>0</td></tr>
<tr><td>最大</td><td>12</td></tr>
<tr><td>初期設定</td><td>8</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>Higgs 3 USR Len</td><td>
Higgs 3 タグはメモリサイズが可変であるという点で他の RFID タグと異なります。EPC 長さが 96 ビットを超える場合、USR 領域のメモリを使用します。このメニューは読み取り専用で RFID タグメモリ内の URS ブロックのビット数を表示します。
<table>
<tr><td>最小</td><td>128</td></tr>
<tr><td>最大</td><td>512 (初期設定)</td></tr>
</table>
お願い
このメニューは Higgs 3 タグが検出された場合のみ表示されます。
</td></tr>
</table>
</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>項目</th><th>説明</th></tr>
<tr><td></td><td>
<table>
<tr><td>Higgs 3 EPC Len</td><td>Higgs 3 タグはメモリサイズが可変であるという点で他の RFID タグと異なります。EPC 長さが 96 ビットを超える場合、USR 領域のメモリを使用します。このメニューで、RFID タグメモリ内の EPC ブロックで使用するビット数を指定できます。
<table>
<tr><td>最小</td><td>96</td></tr>
<tr><td>最大</td><td>480</td></tr>
<tr><td>初期設定</td><td>96</td></tr>
</table>
お願い
このメニューは Higgs 3 タグが検出された場合のみ表示されます。</td></tr>
<tr><td>タグ長</td><td>RFID タグメモリー内の EPC ブロックのバイト数を指定します。この値は RFID キャリブレーションにより自動的に設定されるため、変更しないことを推奨します。
<table>
<tr><td>最小</td><td>8</td></tr>
<tr><td>最大</td><td>62</td></tr>
<tr><td>初期設定</td><td>12</td></tr>
</table>
お願い
この項目は Higgs 3 タグを検出すると非表示になり、代わりに Higgs 3 EPC Len メニューが表示されます。</td></tr>
<tr><td>EPC アドレス</td><td>RFID タグメモリー内の EPC ブロックの開始位置を指定します。通常、この値は RFID キャリブレーションにより自動的に設定されるため、変更しないことを推奨します。
<table>
<tr><td>最小</td><td>0（初期設定）</td></tr>
<tr><td>最大</td><td>32</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>ブロックサイズ</td><td>RFID タグメモリー内の USR ブロックに一度に書き込む最大バイト数を指定します。通常、この値は RFID キャリブレーションにより自動的に設定されるため、変更しないことを推奨します。
<table>
<tr><td>最小</td><td>0</td></tr>
<tr><td>最大</td><td>32</td></tr>
<tr><td>初期設定</td><td>8</td></tr>
</table></td></tr>
</table>
</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>項目</th><th>説明</th></tr>
<tr><td>診断</td><td>これらの設定は、RFID システムの精度を決定したり、問題解決に役立つテストを実行する際に使用します。
<table>
<tr><td>タグ読み取り</td><td>RFID アンテナ上の RFID タグを読み取り、タグデータをデバッグポートに送信し、液晶ディスプレーに表示します。主に開発行程にて、システムが正常に機能しているか検証するために使用します。
お願い
このメニューは RFID タグを RFID アンテナ上に移動するものではありません。正確にデータを読み取るには、タグの位置を RFID アンテナに合わせてください。</td></tr>
<tr><td>タグ読み取り・送り</td><td>タグ読み取りと機能は同じですが、このメニューではタグを読み取った後、次の印刷開始位置までラベルを送ります。
お願い
このメニューは RFID タグを RFID アンテナ上に移動するものではありません。正確にデータを読み取るには、タグの位置を RFID アンテナに合わせてください。</td></tr>
<tr><td>USR 読み取り</td><td>RFID アンテナ上の RFID タグのユーザーメモリーバンクを読み取り、データをデバッグポートに送信し、液晶ディスプレーに表示します。主に開発行程にて、システムが正常に機能しているか検証するために使用します。
お願い
このメニューは RFID タグを RFID アンテナ上に移動するものではありません。正確にデータを読み取るには、タグの位置を RFID アンテナに合わせてください。</td></tr>
<tr><td>TID 読み取り</td><td>RFID アンテナ上の RFID タグからタグ ID（TID）を読み取り、その値を ID メニューに表示します。
お願い
このメニューは RFID タグを RFID アンテナ上に移動するものではありません。正確にデータを読み取るには、タグの位置を RFID アンテナに合わせてください。</td></tr>
<tr><td>ID</td><td>電源オン後に読み取った最初のタグ ID（TID）、または TID 読み取りを使用した場合は、前回読み取った TID を表示します。RFID アンテナ上の RFID タグがないときは液晶ディスプレーに「不明」と表示します。</td></tr>
</table></td></tr>
</table>

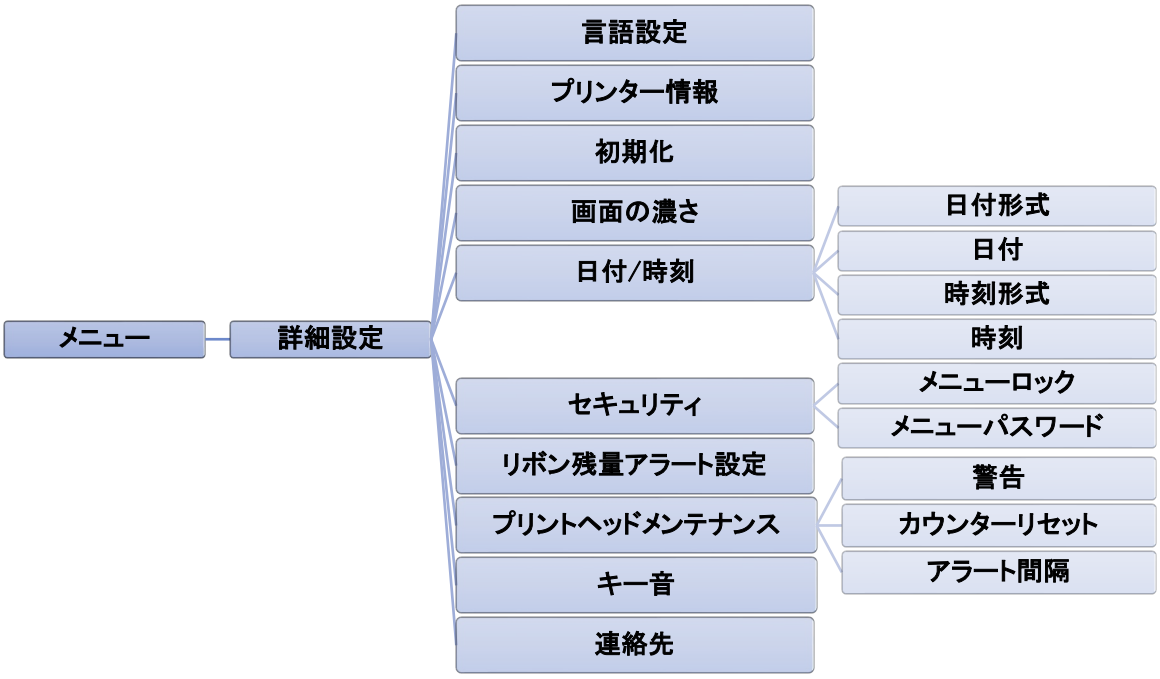
<table>
<tr><th>項目</th><th>説明</th></tr>
<tr><td></td><td>
<table>
<tr><td>PC 読み取り</td><td>RFID アンテナ上の RFID タグから PC（プロトコル制御）フィールドを読み取り、その値を PC メニューに表示します。

お願い
このメニューは RFID タグを RFID アンテナ上に移動するものではありません。正確にデータを読み取るには、タグの位置を RFID アンテナに合わせてください。</td></tr>
<tr><td>PC</td><td>RFID タグから前回読み取った PC（プロトコル制御）フィールドを表示します。RFID アンテナ上にタグがないときは液晶ディスプレーに「不明」と表示します。</td></tr>
<tr><td>EPC 書き込みテスト (1 秒)</td><td>RFID アンテナ上の RFID タグの EPC をすべて数字の 1 で書き込みます。主に開発行程にて、システムが正常に機能しているか検証するために使用します。

お願い
このメニューは RFID タグを RFID アンテナ上に移動するものではありません。正確にデータを書き込むには、タグの位置を RFID アンテナに合わせてください。</td></tr>
<tr><td>EPC 書き込みテスト (2 秒)</td><td>RFID アンテナ上の RFID タグの EPC をすべて数字の 2 で書き込みます。主に開発行程にて、システムが正常に機能しているか検証するために使用します。

お願い
このメニューは RFID タグを RFID アンテナ上に移動するものではありません。正確にデータを書き込むには、タグの位置を RFID アンテナに合わせてください。</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>回数</td><td>RFID 書き込み／読み込みのカウントなどを表示します。
<table>
<tr><td>書き込み総試行回数</td><td>前回の回数リセットが実行されてから書き込みを試行したタグ数を表示します。</td></tr>
<tr><td>書き込み失敗回数</td><td>前回の回数リセットが実行されてから書き込みに失敗した RFID タグ数を表示します。</td></tr>
<tr><td>読み取り回数</td><td>前回の回数リセットが実行されてから読み取ったタグ数を表示します。</td></tr>
<tr><td>回数リセット</td><td>このサブメニューすべてのカウント数をリセットします。</td></tr>
<tr><td>RFID API ver</td><td>エンコーダーの RFID ファームウェアのバージョンを表示します。（TD-4750TNWBR で使用可能）</td></tr>
<tr><td>RFID モジュール</td><td>エンコーダーの RFID ハードウェアのバージョンを表示します。（TD-4750TNWBR で使用可能）</td></tr>
</table>
</td></tr>
</table>

6.6 詳細設定



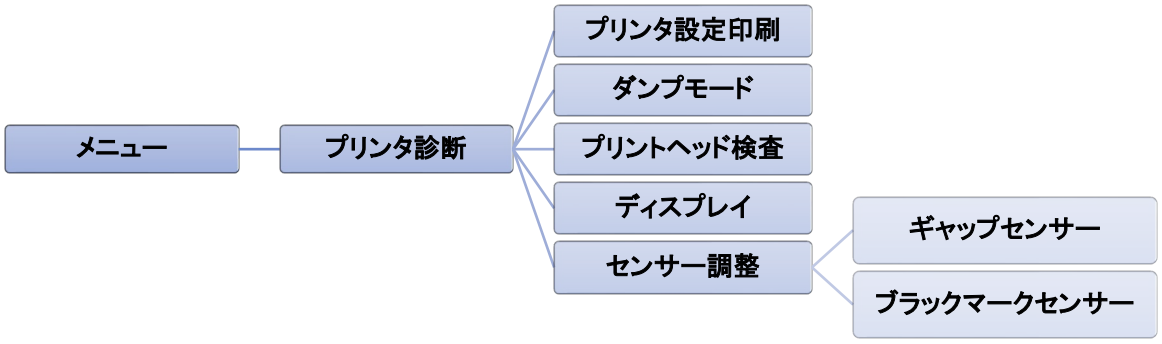
項目	説明
言語設定	液晶ディスプレーで使用する言語を指定します。
プリンター情報	プリンターのシリアルナンバー、総印刷距離、印刷枚数、カット回数を確認します。
初期化	プリンターを工場出荷時の設定に戻します。
画面の濃さ	液晶ディスプレーの輝度を調節します。(設定範囲:0～100)
日付/時刻	液晶ディスプレーの日付、時刻を設定します。
セキュリティ	メニューをロックするパスワードを設定します。初期パスワードは「8888」です。
リボン残量アラート設定	リボン残量アラートを設定します。例えば、30m と設定した場合、リボン残量が 30m を下回ると アイコンが赤で表示されます。

<table>
<tr><th>項目</th><th>説明</th></tr>
<tr><td>プリントヘッドメンテナンス</td><td>印字ヘッド状態とメンテナンスの通知設定を確認します。
<table>
<tr><th>項目</th><th>説明</th></tr>
<tr><td>警告</td><td>印字ヘッドクリーニングのアラートを有効または無効にします。この設定が有効で、印字ヘッドが設定した印刷距離に到達すると、印字ヘッドを清掃するよう液晶ディスプレーに警告が表示されます。初期設定は「無効」です。</td></tr>
<tr><td>カウンターリセット</td><td>印字ヘッドを清掃した後、印字ヘッドの印刷距離をリセットします。</td></tr>
<tr><td>アラート間隔</td><td>印字ヘッドクリーニングのアラートを表示する印刷距離を設定します。この項目を使用するには「TPH アラートロック」を有効にする必要があります。初期設定は「1km」です。</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>キー音</td><td>ボタンのプッシュ音を有効または無効にします。</td></tr>
<tr><td>連絡先</td><td>携帯端末からブラザーサポートウェブサイト（support.brother.com）にアクセスするための QR コードを表示します。</td></tr>
</table>

6.7 ファイル管理

プリンターの使用可能なメモリーの確認、ファイル一覧の表示、ファイルの削除、プリンターの DRAM／フラッシュメモリーに保存したファイルの実行を行います。

6.8 プリンタ診断



項目	説明
プリンタ設定印刷	現在のプリンター設定を印刷します。印刷された用紙には、印字ヘッドのテストパターンも出力します。これを確認することで、印字ヘッドの発熱素子にドットの損傷がないかが分かります。 詳細は、*5.1.2 ギャップセンサー／ブラックマークセンサーのキャリブレーション、セルフテスト、ダンプモードに入る*を参照してください。
ダンプモード	通信ポートからデータを取得し、プリンターが受信したデータを印刷します。ダンプモードでは文字が二列で表示されます。左の列の文字はプリンターシステムから受信したもので、右の列は 16 進表示です。これを確認することにより、プログラムを検証し、デバッグできます。 詳細は、*5.1.2 ギャップセンサー／ブラックマークセンサーのキャリブレーション、セルフテスト、ダンプモードに入る*を参照してください。 **お願い** ダンプモードには幅 101.6 mm の用紙を使用してください。
プリントヘッド検査	目に見えるドットがないか確認し、印字ヘッドの温度を確認します。
ディスプレイ	液晶ディスプレーの色状態を確認します。
センサー調整	センサーの強度と読み取り状態を確認します。

7.Brother Printer Management Tool（BPM）

BPM は次のことが可能になる統合ツールです。

- プリンターのステータスと設定を確認する
- プリンターの設定を確認する
- プリンターに追加のコマンドを送付する
- グラフィックスとフォントをダウンロードする
- プリンターのビットマップフォントを作成する
- ファームウェアをダウンロード、アップロードする
- 無線 LAN（Wi-Fi）と Bluetooth を設定する

このツールでプリンターのステータスと設定を確認し、問題解決に役立てることができます。

本ツールは Windows のみ対応です。

7.1 BPM を実行する

1. BPM アイコン をダブルクリックしてソフトウェアを開始します。

BPM のメイン画面から次のオプションにアクセスできます。

- プリンター設定
- ファイルマネージャー
- コマンドツール
- RTC セットアップ
- プリンター機能
- ビットマップフォントマネージャー

詳細は、support.brother.com のお使いのモデルの**製品マニュアル**ページより、*Brother Printer Management Tool クイックスタートガイド*を参照してください。

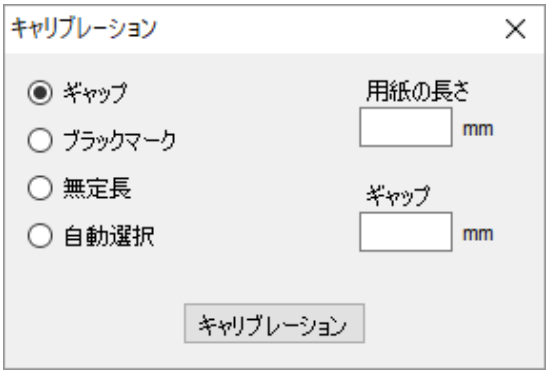
7.2 BPM を使用してメディアセンサーの自動キャリブレーションを行う

BPM で用紙センサーの種類（ギャップセンサーまたはブラックマークセンサー）を設定し、選択したセンサーのキャリブレーションを行います。

ギャップセンサー	ブラックマークセンサー

ギャップセンサー（透過型センサー）は、ラベルの先端を検出し、正しい位置にラベルを送ります。
ブラックマークセンサー（反射型センサー）は、マークを検出し、正しい位置に用紙を送ります。

1. 用紙が既にセットされていて、印字ヘッドが閉じていることを確認します。（*3.2 用紙をセットする* を参照）
2. プリンターの電源をオンにします。
3. BPM を実行します。
4. **メンテナンス**ボタンをクリックします。
5. **キャリブレーション**ボタンをクリックします。
6. 用紙センサー種類を選択し、**キャリブレーション**をクリックします。



8.RFID をセットアップする

8.1 はじめに

EEPROMを使用したスマートラベルを印刷する場合、プリンターがそれらを正常に認識するまでに何枚かのRFIDタグの書き込み・検証を少なくとも一回は行う必要があります。各ラベルの印刷の間にプリンターが一時停止することがありますが、これは品質と信頼性を確保するために必要なものです。

お願い

スマートラベルは静電気によって破損することがあります。スマートラベルを扱う前にプリンターの用紙カバーを開け、非塗装の金属部品に触れ、手にたまった静電気を放出してください。

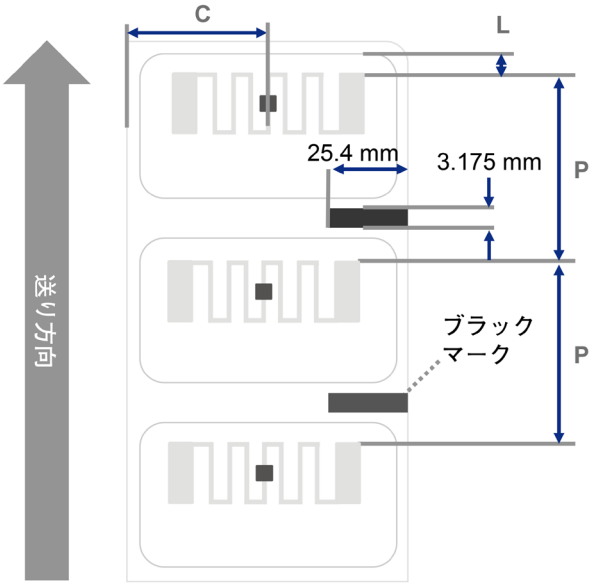
本製品は自動キャリブレーション機能を搭載しており、厳密なインレイ配置の指定やRFIDの電力設定は必要ありません。キャリブレーションの工程は一般的なラベルサイズに埋め込まれた多くの主要なインレイに対応しており、その他の様々なインレイにも対応可能です。

重要

RFID 用紙を選定する際には、購入前に必ずお使いのプリンターで印刷することをお勧めします。

最適なパフォーマンスのために:

- インレイは用紙の横方向の中心に配置します（寸法C）。ただし、中心にあることより、タグごとに常に一定間隔で配置されていることが重要です。
- ピッチは、インレイからインレイの距離です（寸法P）。ピッチ上にあるタグおよびピッチが25.4 mm未満のタグの場合、エンコーディング・印刷プロセス中にプリンターがラベルを逆送りする必要が生じ、スループットを低下させます。これを避けるため、ピッチは25.4mmよりも大きくしてください。
- インレイは用紙の先端より、すべてのタグで同じ距離だけ下げて配置します（寸法L）。逆送りを避けるため、25.4mmより長いラベルの場合、この距離を12.7mmよりも大きくします。



- C: 中心までの距離
- L: 用紙の先端からの距離
- P: インレイからインレイの距離

8.2 RFID キャリブレーション（TD-4750TNWBR のみ）

8.2.1 アンテナ位置を選択する

最適なアンテナ位置を決めるため、ラベル内にあるタグのアンテナループの場所を確認します。多くの場合、アンテナループはチップのすぐ上か下にあります。タグによっては、チップの片側にループがずれている場合があります。

ロールカバーを開けてください。アンテナスライドを動かし、位置インジケーターをタグのループに合わせます。

8.2.2 RFID キャリブレーションの手順

お願い

最適なキャリブレーション結果を得るために、RFID キャリブレーションを行う前に、用紙キャリブレーションを実行してください。リボンおよびラベルロールが正しくセットされていることを、必ず確認してください。

1. 用紙の自動キャリブレーションを実行します。

- **本体操作パネルを使用するとき**:

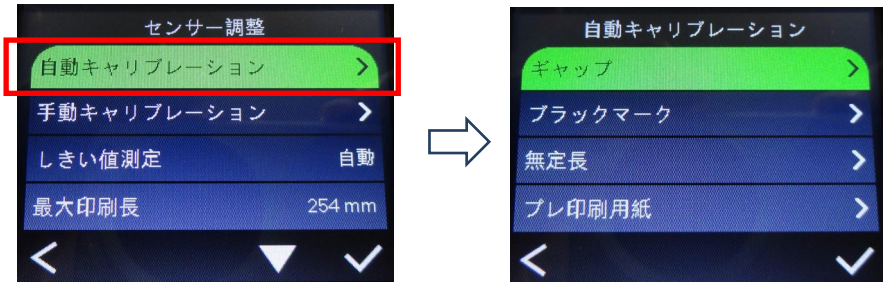
  a. プリンターにRFID用紙をセットします。

  b. (熱転写機のみ)リボンをプリンターにセットします。

  c. **メニューリスト** を選択します。

  d. **センサー調整** を選択します。

  e. **自動キャリブレーション**を選択し、用紙タイプを選び、 アイコンを選択します。



お願い

詳細は、*6.4 センサー調整* を参照してください。

- **BPMを使用するとき**:

  a. プリンターにRFID用紙をセットします。

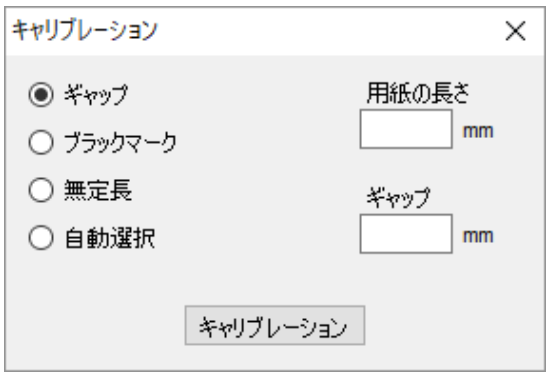
  b. (熱転写機のみ)リボンをプリンターにセットします。

  c. パソコンとプリンターをUSBケーブルで接続します。

  d. BPMを実行します。

  e. 一覧にあるプリンターを選択し、**メンテナンス**ボタンをクリックします。

f. **キャリブレーション**をクリックします。



g. **プリンター設定**をクリックし、FBPLタブにて用紙幅と高さが正しく設定されていることを確認します。

- **AUTODETECTコマンドを使用するとき**:

> **お願い**
> 詳細は、support.brother.com のお使いのモデルの**製品マニュアル**ページより、*FBPL コマンドリファレンス*を参照してください。

2. RFIDアンテナがタグのRFIDチップまたはアンテナループの中心にセットされていることを確認します。詳細は、*8.2.1 アンテナ位置を選択する*を参照してください。
3. RFIDキャリブレーションを開始します。
   - **液晶メニューを使用するとき**:
     RFIDメニューを開きます。**インターフェイス** **RFID** → **RFIDキャリブレーション** →**自動キャリブレーション** を選択し、 アイコンを選択します。

> **お願い**
> 詳細は、*6.5.5 RFID 設定*を参照してください。

- **RFIDDETECTコマンドを使用するとき**:

> **お願い**
> 詳細は、support.brother.com のお使いのモデルの**製品マニュアル**ページより、*FBPL コマンドリファレンス*を参照してください。

タグの種類と長さによっては、キャリブレーションに数分かかることがあります。キャリブレーションが終了すると、液晶ディスプレーに結果が表示されます。

4. キャリブレーションに失敗した場合、 または アイコンを選択してエラーを解除します。本エラーが発生したときは、多くの場合、アンテナスライドの位置をもう一度合わせることでエラーが解消します。ただし、タグとタグリーダーの互換性によりエラーが発生している場合もあります。キャリブレーションが完了したら、 または アイコンを選択し、取得したRFIDキャリブレーションの値を保存します。

9.製品仕様

ディスプレイ	
液晶パネル	2.3 インチカラー液晶パネル
LED	1 ユニット（3 色：緑、赤、黄）
印刷	
印刷方式	熱転写印刷および感熱印刷
最大印字幅	最大 108mm (TD-4650TNWB) 最大 105.7mm（TD-4750TNWB、TD-4750TNWBR）
最大印字長	25,400mm（TD-4650TNWB） 11,430mm（TD-4750TNWB、TD-4750TNWBR）
最大印字速度	203.2mm/秒（TD-4650TNWB） 152.4mm/秒（TD-4750TNWB、TD-4750TNWBR）
ハクリユニットモードの印刷速度	最高 3ips
印刷解像度	203dpi（TD-4650TNWB） 300dpi（TD-4750TNWB、TD-4750TNWBR）
サイズ	
外形寸法	約 219mm（幅） x 284mm（長さ） x 191mm（高さ）
重量	約 3 kg
インターフェイス	
USB	USB Ver. 2.0 High Speed (Type B)
シリアル	RS-232
有線 LAN	10/100Mbps
USB ホストポート	スタンドアローン：USB キーボード、USB スキャナ ストレージ：USB フラッシュドライブ
Bluetooth	Bluetooth Ver.5.0 SPP (Bluetooth Classic)、GATT (Bluetooth Low Energy)
WiFi	IEEE 802.11 a/b/g/n
Wi-Fi セキュリティ	認証方式（暗号化方式） ＊インフラストラクチャーモード - オープンシステム（なし/WEP64/WEP128） - WPA/WPA2-PSK (TKIP+AES) - EAP-FAST (TKIP/AES) - PEAPv0 (TKIP/AES) - EAP-TLS (TKIP/AES) - EAP-TTLS (TKIP/AES)

環境	
温度条件	動作温度:5℃～40℃ 保管温度:-40℃～60℃
湿度条件	動作湿度:25%～85%(結露なきこと) 保管湿度:10%～90%(結露なきこと)
電源	
電源	AC アダプター • 入力:AC 100V - 240V、2.0 A、50Hz - 60Hz • 出力:DC 24 V、3.75 A、90 W
用紙仕様	
用紙種類	長尺紙、ダイカット紙ラベル、ブラックマーク、ファンフォールド紙、ノッチ付き用紙、パンチ穴付き用紙、Gen2 RFID タグ (TD-4750TNWBR)
巻き方式	外巻き
用紙幅	20mm～112mm (手切りモード) 25.4mm～110mm (剥離モード) 25.4mm～112mm (カッターモード)
用紙厚さ	0.06mm～0.19mm
ロール外径(最大)	127mm
芯サイズ	25.4mm～38.1mm
用紙センサー	ギャップ(透過型)、ブラックマーク(反射型)
リボン仕様	
幅	最大長さ 300m、外径 67mm、25.4mm 芯(インクコート外側) 最大長さ 110 m、外径 40 mm、12.7 mm 芯(インクコート外側)
リボン幅	40mm～110mm ・幅が用紙の幅よりも広いリボンを使用してください。
RFID 仕様(TD-4750TNWBR のみ)	
RF プロトコル	UHF EPC global Class 1 Gen2 / ISO 18000-63
動作周波数	902MHz～928MHz
最小ピッチ	15.875mm

その他	
カッターモード	ギロチンおよび部分自動カッターオプション（ユーザー交換不可）＊[1、2]
ハクリユニット	ハクリオプション（ユーザー交換不可）＊[1、2]
内蔵バーコード	• 一次元バーコード Code 11 (USD-8), Code 39, Code 93, Code 128 with subsets A/B/C, UPC-A, UPC-E, EAN-8, EAN-13, UPC and EAN 2- or 5-digit extensions, GS1-128 (UCC/EAN-128), MSI, Plessey, POSTNET, Standard 2-of-5 (IATA), Industrial 2-of-5, Interleaved 2-of-5, ITF-14, EAN-14, LOGMARS, Codabar (NW-7), Planet, Telepen, Deutsche Post Identcode, Deutsche Post Leitcode, Datalogic 2-of-5 (China Post) • 二次元バーコード CODABLOCK F, PDF417, Code 49, GS1 DataMatrix, MaxiCode, QR Code, TLC39, MicroPDF417, GS1 DataBar (RSS), Aztec Code
プリンター制御コマンド	FBPL-EZD (EPL II、ZPL II、DPL 互換) FBPL-EZS (EPL II、ZPL II、SBPL 互換)
内蔵フォント	• 8 種類の英数字ビットマップフォント • Monotype Imaging® True Type font engine with one CG Triumvirate Bold Condensed scalable font

＊1 RFID タグには対応していません。

＊2 ユーザー着脱不可のため、ご要望の際はブラザーコールセンターへお問い合わせください。

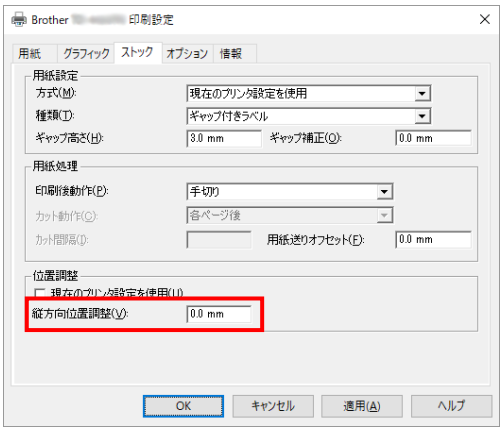
10.トラブルシューティング

10.1 一般的な問題

この章では、プリンターの使用中に発生する可能性のある一般的な問題の対処方法について説明します。問題が発生した場合、まずは下記の原因と解決方法をご確認ください。それでも問題が解決しない場合は、ブラザーコールセンターまたはお近くの販売店までご連絡ください。

問題	考えられる原因	解決方法
ステータス LED が点灯しない。	電源コードが正しく接続されていない。	プリンターが電源コードで電源コンセントに正しく接続されていることを確認する。
		プリンターの電源をオンにする。
- BPM に**ヘッドオープン**という表示が出る。 - LED が赤色に点滅する。	印字ヘッドが開いている。	印字ヘッドを閉める。
-BPM に**リボン切れ**または**リボンエンコーダーエラー**という表示が出る。 - LED が赤色に点滅する。	リボンがなくなった。	新しいリボンをセットする。 新しリボンをセットするには、*3.1 リボンをセットする*を参照してください。
	リボンが正しくセットされていない。	リボンをセットし直す。 リボンをセットするには、*3.1 リボンをセットする*を参照してください。
- BPM に**用紙切れ**という表示が出る。 - LED が赤色に点滅する。	ラベルがなくなった。	新しいラベルロールをセットする。 新しいラベルロールをセットするには、*3.2 用紙をセットする*を参照してください。
	ラベルが正しくセットされていない。	ラベルロールをセットし直す。 ラベルロールをセットするには、*3.2 用紙をセットする*を参照してください。
	ギャップセンサー／ブラックマークセンサーのキャリブレーションが行われていない。	ギャップセンサー／ブラックマークセンサーのキャリブレーションを行う。
- BPM に**用紙詰まり**という表示が出る。	ギャップセンサー／ブラックマークセンサーのキャリブレーションが行われていない。	ギャップセンサー／ブラックマークセンサーのキャリブレーションを行う。

問題	考えられる原因	解決方法
- LED が赤色に点滅する。	用紙サイズが正しく設定されているか確認する。	ラベルサイズを正しく設定する。
	ラベルが印字ヘッドの内部で詰まっている。	
印刷できない。	シリアルケーブルまたは USB ケーブルが正しく接続されていない。	シリアルケーブルまたは USB ケーブルを再接続する。
	シリアルケーブルまたは USB ケーブルが破損している。	新しいケーブルに変えてみる。
	リボンまたは用紙が間違っているか、損傷している。	適切なリボンまたは用紙を使用する。
		リボンが損傷していないか確認する。
		リボンをセットし直す。
	印字ヘッドを清掃する必要がある。	印字ヘッドを清掃する。
	印刷濃度と印刷速度の設定が正しくない。	印刷濃度と印刷速度を調整する。
	お使いのカスタムプログラムに、必要なコマンドが記載されていない。	ファイルの終わりに PRINT コマンドがあり、各コマンドラインの終わりに CRLF があるか、プログラムを確認してください。
メモリーが一杯である。（フラッシュ／DRAM）	プリンターの FLASH／DRAM メモリーが一杯である。	FLASH／DRAM メモリーから使用していないファイルを削除する。
印刷品質がよくない。	リボン／用紙が正しくセットされていない。	リボン／用紙をセットし直す。
	印字ヘッドに埃や粘着物がたまっている。	印字ヘッドを清掃する。
		プラテンローラーを清掃する。
	印刷濃度が正しく設定されていない。	印刷濃度と印刷速度を調整する。
	印字ヘッドが損傷している。	プリンターのセルフテストを行い、印字ヘッドテストパターンをみて、ドットが欠けているところがないか確認する。
	リボン／用紙が本機に対応していない。	正しいリボン／用紙をセットする。
印刷時、ラベルがとばされる。	ラベルサイズが正しく指定されていない。	ラベルサイズが正しく設定されているか確認する。

問題	考えられる原因	解決方法
	センサーの感度が正しく設定されていない。	自動またはマニュアルでセンサーのキャリブレーションを行う。
	メディアセンサーが汚れている。	ギャップセンサー／ブラックマークセンサーをブロワーブラシで清掃する。
小さなラベルで正しい位置に印刷されない。	メディアセンサーの感度が正しく設定されていない。	センサー感度のキャリブレーションを再度行う。
	ラベルサイズが正しくない。	ラベルサイズとギャップサイズを正しく設定する。
	ドライバーの縦方向位置調整設定が正しくない。	BarTender ソフトウェアを使用している場合は、ドライバーで縦方向位置調整を設定する。 
ラベルの右端または左端の印字がされない。	ラベルサイズが正しく設定されていない。	正しいラベルサイズを設定する。
ラベルが歪む。	ラベルが正しくセットされていない。	リボンをセットし直す。 リボンをセットするには、*3.1 リボンをセットする*を参照してください。
	用紙が正しくセットされていない。	ラベルロールをセットし直す。 ラベルロールをセットするには、*3.2 用紙をセットする*を参照してください。
	印刷濃度が正しく設定されていない。	印刷品質を向上するために印刷濃度を調整する。
	用紙が正しく給紙されていない	用紙おさえが、用紙の端まできていることを確認する。
ラベルにグレーの線が入る。	印字ヘッドが汚れている。	印字ヘッドを清掃する。
	プラテンローラーが汚れている。	プラテンローラーを清掃する。

問題	考えられる原因	解決方法
印刷が乱れている。	プリンターがダンプモードになっている。	プリンターの電源を入れ直して、ダンプモードを解除します。（*5.1.2 ギャップセンサー／ブラックマークセンサーのキャリブレーション、セルフテスト、ダンプモードに入る*を参照）
用紙がプラテンローラーに巻きつく。	プラテンローラーにラベルの粘着剤が付着している。	定期的にプラテンローラーを清掃する。

プリンターの清掃についての詳細は *11. メンテナンス*を参照してください。

10.2 RFID エラーメッセージ

RFIDエンコーダーが検出するエラーもあります。これらのエラーが発生すると、RFIDエンコーダーはプリンターにアラートを送り、液晶ディスプレーにエラーメッセージが表示されます。

エラーメッセージ	考えられる原因	解決方法
RFID 機能が 無効になっています	RFID 機能が有効になっていない。	**RFID** > **設定** > **RFID 有効**を選択し、RFID 機能を有効にします。
失敗 EPC 書き込み失敗	**診断** > **EPC 書き込みテスト(1 秒)**または **EPC 書き込みテスト(2 秒)**で、EPC タグに書き込めない。	・ラベル位置がずれていた可能性があります。**センサー調整**メニューから**自動キャリブレーション**を実行し、ラベルが印刷開始位置にあることを確認します。 ・**RFID** > **設定** > **RFID キャリブレーション** > **RFID キャリブレーション**を選択します。 ・正しい位置に RFID タグをセットします。 ・不良タグの可能性があります。別のタグで試してください。 ・アプリが RFID タグに送信する桁数が適切であることを確認します。
RFID キャリブレーション タグの書き込みに失敗 しました	RFID キャリブレーションが実行できません。	・ラベル位置がずれていた可能性があります。**センサー調整**メニューから**自動キャリブレーション**を実行し、ラベルが印刷開始位置にあることを確認します。 ・正しい位置に RFID タグをセットします。 ・不良タグの可能性があります。別のタグで試してください。
RFID が無効です	RFID 機能が無効であるのに、RFID コマンドがプリンターに送られた。	1. **RFID** > **設定** > **RFID 有効**を選択し、RFID 機能を有効にします。 2. 次に、RFID コマンドを送信します。
RFID タグ上 RFID データが含まれていません	「非 RFID コマンド受信警告」機能（**RFID** > **設定** > **非 RFID コマンド受信警告**）がオンになっている場合は、プリンターが非 RFID データを受け取りました。	プリンターに正しい RFID コマンドを送信してください。
無効な RFID データです	送信した RFID タグが設定と一致しません。	RFID コマンドのタグデータを確認してください。

エラーメッセージ	考えられる原因	解決方法
無効なデータサイズです	送信したタグ長サイズ（RFID コマンドのサイズパラメーター）が設定と一致しません。	RFID コマンドのデータ長サイズを確認してください。
RFID タグ不良です	タグに書き込めない。	・ラベル位置がずれていた可能性があります。**センサー調整**メニューから**自動キャリブレーション**を実行し、ラベルが印刷開始位置にあることを確認します。 ・**RFID** > **設定** > **RFID キャリブレーション** > **RFID キャリブレーション**を選択します。 ・正しい位置に RFID タグをセットします。 ・不良タグの可能性があります。別のタグで試してください。 ・アプリが RFID タグに送信する桁数が適切であることを確認します。 ・RFID コマンドが正しいことを確認します。
タグの読み取りができませんでした	タグを読み取れない。	・正しい位置に RFID タグをセットします。 ・不良タグの可能性があります。別のタグで試してください。
用紙を取り除いて下さい または 用紙切れ	機器内で用紙が詰まっている、または間違ったサイズの用紙をセットしている。	・プリンターを破損しないよう、慎重にラベル用紙を取り外します。 ・正しい位置に RFID タグをセットします。 ・振動を与えずに、真下に用紙が送れる障害のない場所にプリンターを設置します。 ・ギャップセンサー／ブラックマークセンサーのキャリブレーションを行う。 ・ラベルサイズを正しく設定します。

お願い

RFID タグに書き込めないとき：

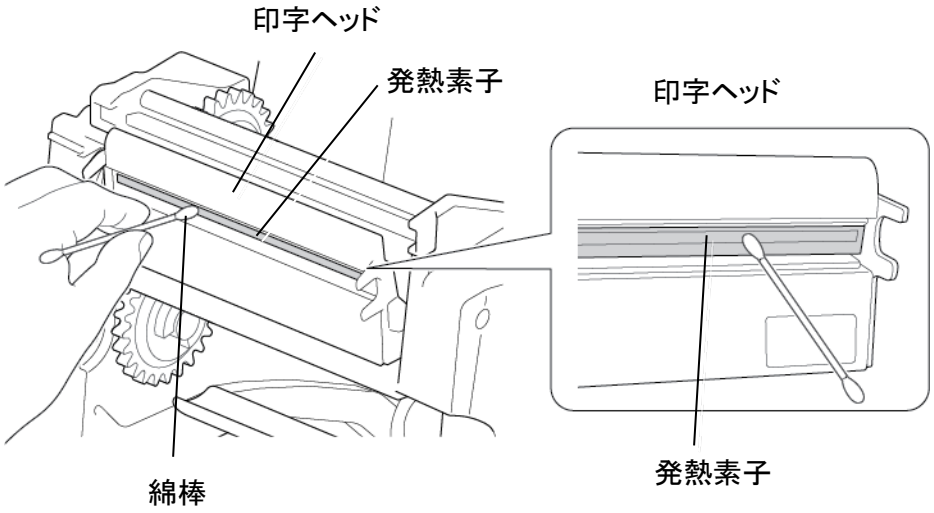
- 正しい位置に RFID タグがセットされていることを確認します。
- 不良タグの可能性があります。別のタグで試してください。
- ラベルサイズを正しく設定し、RFID タグのキャリブレーションを行います。
- センサー感度を適切に設定してください（液晶ディスプレー：***センサー調整*** > ***しきい値調整***）。
- RFID コマンドのデータ長サイズを確認してください。

11.メンテナンス

性能を適切に発揮させるため、プリンターを定期的に清掃することをお勧めします。

推奨の清掃用品:

- 綿棒
- 糸くずの出ない布
- バキューム／ブロワーブラシ
- エアダスター
- イソプロピルアルコールまたはエタノール

プリンター部位	清掃方法	頻度
印字ヘッド	1.プリンターの電源をオフにします。 2.印字ヘッドの温度が下がるまで 1 分以上待ちます。 3.イソプロピルアルコールまたはエタノールを含ませた綿棒で印字ヘッドを拭きます。	ラベルロールの交換時
		
プラテンローラー	1.プリンターの電源をオフにします。 2.プラテンローラーを回転し、イソプロピルアルコールまたはエタノールを含ませた、糸くずの出ない布または綿棒でプラテンローラーをよく拭きます。	ラベルロールの交換時
ティアバー／ハクリバー	イソプロピルアルコールまたはエタノールを含ませた、糸くずの出ない布で拭きます。	必要に応じて

センサー	エアダスターまたはバキュームを使用します。	月一回
外面	プリンターの外面を、水を含ませた糸くずの出ない布で拭き取ります。	必要に応じて
内面	ブラシかバキュームを使用します。	必要に応じて

お願い

- 印字ヘッドは触らないでください。触ってしまった場合は、上記の方法で清掃してください。
- 医療用アルコールは印字ヘッドに損傷を与える場合があるので、使用しないでください。イソプロピルアルコールまたはエタノールは、製造元メーカーの安全ガイドラインに従って使用してください。
- 性能を適切に維持するため、新しいリボンをセットするたびに印字ヘッドとセンサーを清掃することをお勧めします。

重要

プリンター、部品、消耗品を使用しなくなった場合は、適切に廃棄してください。使用済みのリボンには印字した内容が残ります。廃棄の際には、リボンをはさみで切るなどして印字した内容の保護にご注意ください。

保証書は本機に同梱されています。販売店・お買い上げ年月日等が記入されているかご確認ください。保証書、保証規定をよくお読みの上、大切に保管してください。
アフターサービスについてご不明な点やご相談がある場合は、お買い上げの販売店、または下記「ブラザーコールセンター」までお問い合わせください。

ブラザーコールセンター

URL　support.brother.co.jp　（スマートフォンはこちらから）

TEL　0570-061030
受付時間　月～土 9:00～12:00 / 13:00～17:00

＊日曜日・祝日・弊社指定休日を除く
＊営業時間、電話番号については事前予告なく変更になる場合がございます。
その際はホームページにてお知らせいたします。

（ブラザーコールセンターは、ブラザー販売株式会社が運営しています。）

brother